



DVR – AT21F用遠隔監視ソフト

EMS2 (PC用)

Mobile CMS (スマートフォン用)

取扱説明書

本書はDVR-AT21F用遠隔監視ソフトの取扱説明書です。

ハードディスクレコーダーDVR-AT21Fの操作に関してはDVR-AT21Fの取扱説明書をご参照ください。

本ソフトの動作はPCやネットワークの環境に大きな影響を受けます。PCやルーターの取扱説明書も合わせてご参照くださいますようお願いいたします。

目次

PC用遠隔監視ソフト EMS2	2
I システム条件	3
II インストール	4
III EMS2の実行	6
1. EMS2の概要（DVRの登録など）	7
2. EMS2の設定	20
3. EMS2アカウント	23
V DVRの制御	25
1. ライブ映像	25
3. ダウンロード	37
VI イベントアクション	38
VII Eマップ	41
VIII その他の機能	45
スマートフォン用遠隔監視アプリ Mobile CMS	46
I 推奨OS	47
II インストール	47
III DVRの登録	48
IV ライブ映像	52
V 再生	53
VI 設定	54
VII その他の機能	55

PC用遠隔監視ソフト

EMS2

I システム条件

EMS2は、表示するDVRの数が増えるほどPCのリソースを多く使用します。PCは受信するデータを効率的に管理しなければならないため、高いシステム条件が必要とされます。

下の表は EMS2が適切に動作するための推奨のシステムの仕様です。

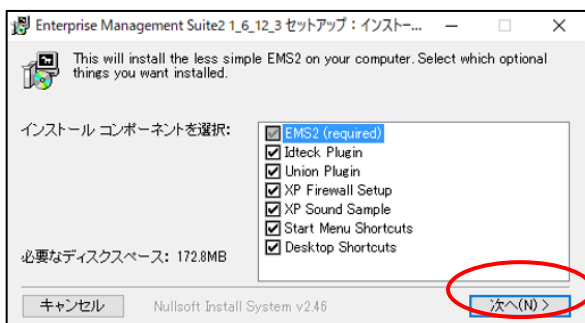
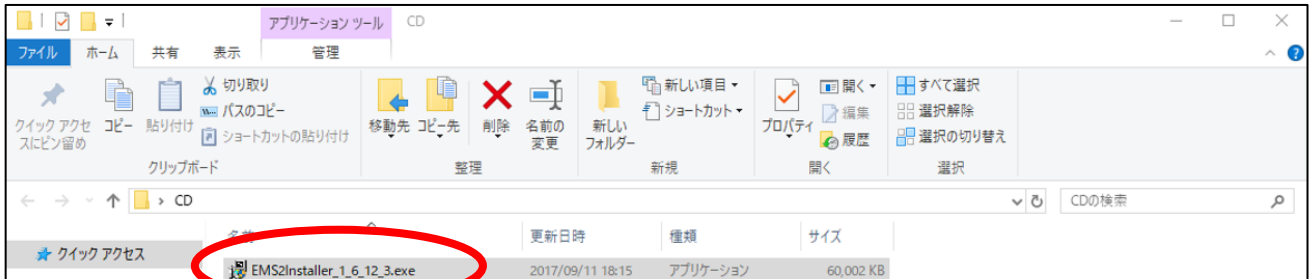
OS	Windows 7 SP1 以上
CPU	Quad core i5 (空きリソース 95% 以上)
RAM	4G (空き物理メモリー 700M)
Video Card	PCI-E 1G メモリー
Resolution	1600*1200(1920*1080) 2モニター
DirectX	DX 9.0 サポート
Network	Gigabit Ethernet LAN
HDD	40Gの空き容量

<注意>

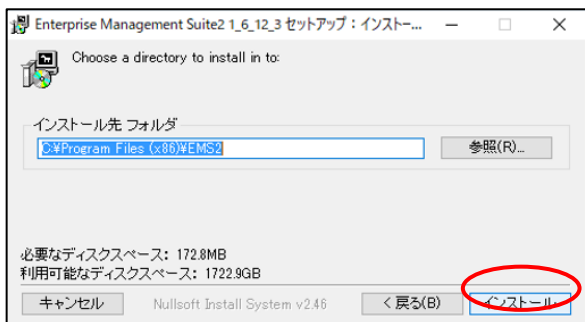
DirectX 7.0 または、それ以前のバージョンがインストールされている場合、EMS2が実行できないことがあります。Microsoft社から最新の DirectXをダウンロードしてください。

II インストール

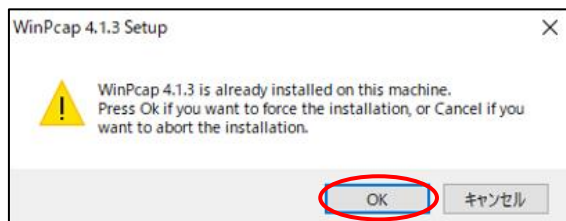
製品に付属しているCD を PCの CD-ROMドライブに挿入し、エクスプローラー等でフォルダを表示し、“EMS2Installer_*_*_*_*_.exe” を実行します(“*”はバージョンを示す数字です)。



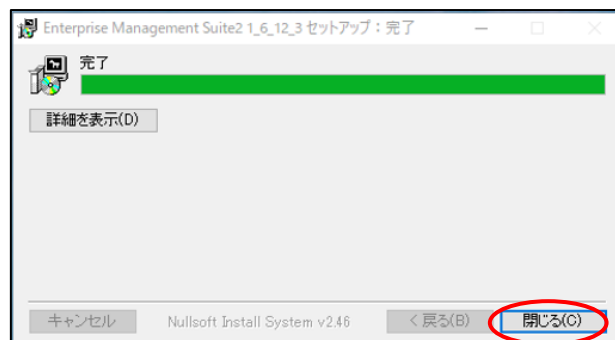
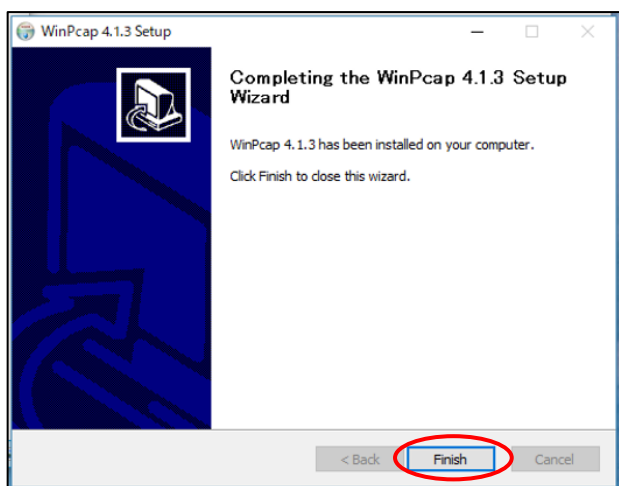
セットアップダイアログが開いたら、インストールオプションを選択し、「次へ」をクリックします。



次に、EMS2 をインストールするフォルダを選択します。必要な場合は変更し、インストールをクリックします。初期設定では“C:\Program Files\EMS2”（64ビット版OS では“C:\Program Files (x86)\EMS2”）が選択されます。インストール先が決まったらインストールボタンをクリックします。




インストール中に“WinPcap” のインストールを促されます。インストールを実行してください



完了を示すウインドウが表示されたら、「閉じる」をクリックしてインストールを終了します。

Ⅲ EMS2の実行

スタートメニューから「全てのプログラム」→「EMS2」→「EMS2」をクリックするかデスクトップ上のアイコン  をダブルクリックすると、下のようなログインウィンドウが表示されます。



起動用のID とパスワードの初期設定値は以下のようにになっています。

ID= admin

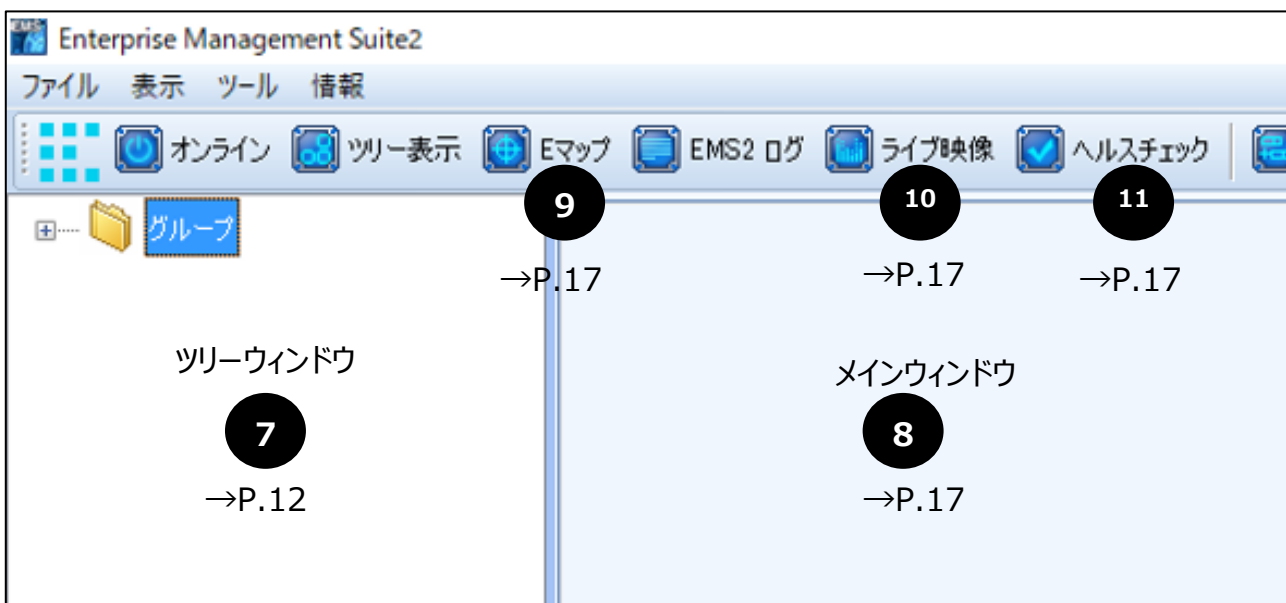
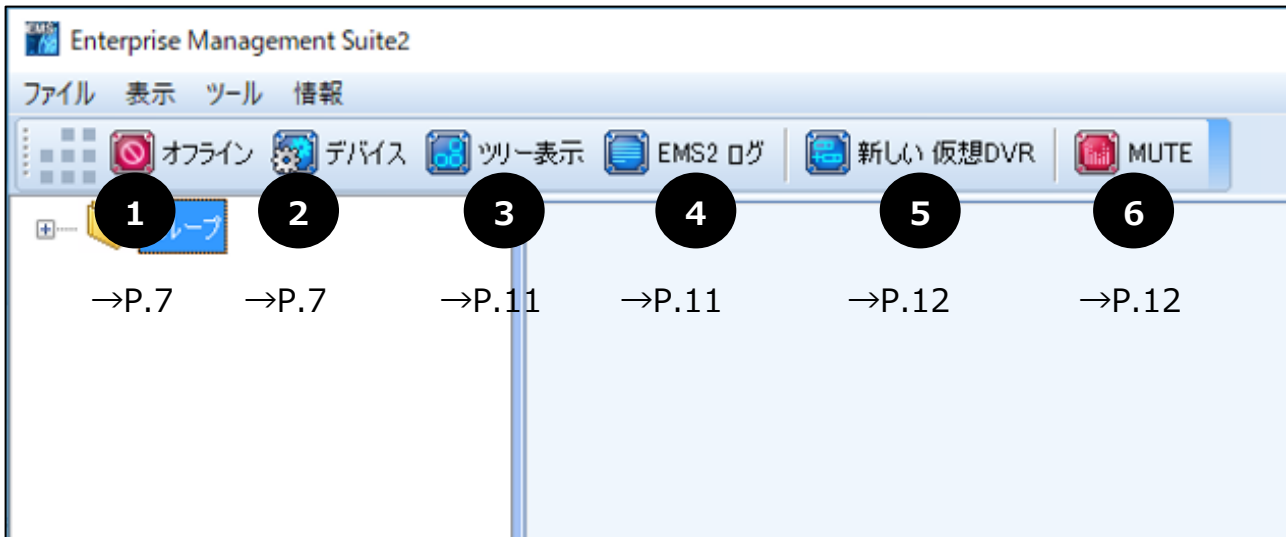
Pass= 0

この画面から起動せずに終了する場合は、「取消」をクリックするかキーボードのESCキーを押してください。

このID とパスワードの変更方法は「EMS2の設定（P.20）」を参照してください。

IV 機能

1. EMS2の概要（DVRの登録など）



1. オンライン／オフラインボタン

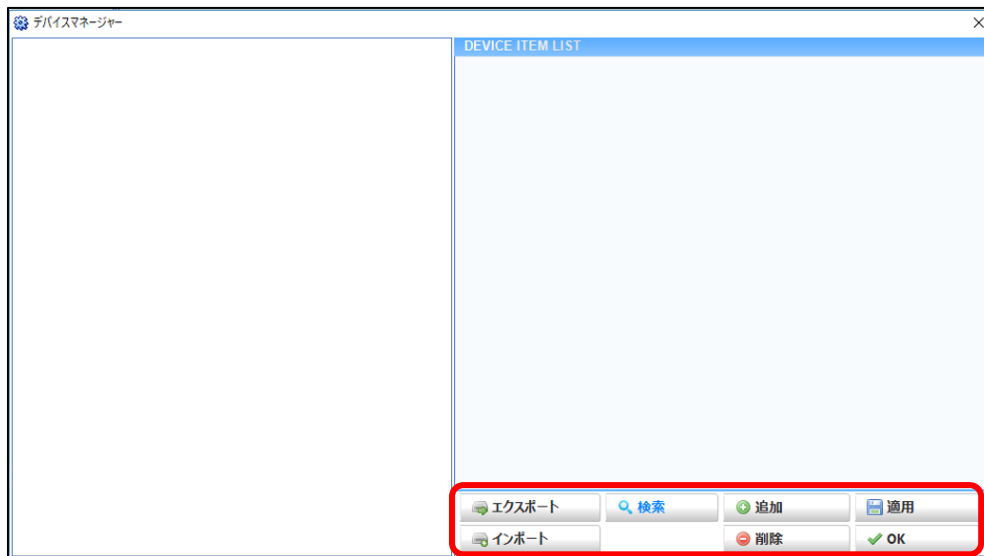
DVRへの接続と切断を切り替えます。（「デバイスマネージャー」で「自動接続」の欄にチェックが入っている全てのデバイスを切り替えます。）

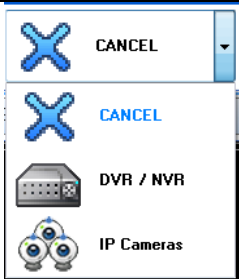
2. デバイス（DVR）・デバイスの登録

デバイスマネージャーを表示します。デバイスマネージャーでは、デバイス（DVR）の追加・削除、デバイス情報のインポート・エクスポート等を行うことができます。

※ このアイコンは上の「オンライン/オフライン」ボタンを「オフライン」にしたときのみ表示されます。

■ デバイスマネージャー



エクスポート	<p>登録済みのデバイスから入力された情報を抽出します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) デバイスをマウスで選択し、エクスポートボタンをクリックします。 2) パスワードウィンドウが表示されたら、EMS2の起動パスワードを入力します。 3) ファイルを保存する場所を指定します。 4) ファイル名を入力します。 (*.exp)
インポート	<p>“*.exp” ファイルのデバイス情報を読み込んで登録情報に反映します。デバイスを登録するときに使用します。</p>
検索	<p>PCと同じローカルエリアネットワーク内のデバイスを自動的にスキャンし、登録します。既に登録済みのデバイスはスキップします。検索されたデバイスのIDの欄には“admin”、パスワードの欄には“000000” が自動的に入力されます。パスワードを変更している場合は入力しなおしてください。</p>
追加	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>デバイスを登録します。(→P.9)</p> <p>A. 「DVR/NVR」を選択してください。(「IPカメラ」の選択肢は使用しません。)</p> <p>B. デバイスを追加します。</p> </div> </div>
削除	<p>DEVICE ITEM LIST に表示されている登録済みのデバイスから選択したデバイスを削除します。</p>
適用	<p>デバイスを追加した場合またはデバイスの設定を変更した場合に、その機能を保存し適用します。</p>
OK	<p>デバイスを追加した場合またはデバイスの設定を変更した場合に、その状態を保存し適用した後にデバイスマネージャーを閉じます。</p>


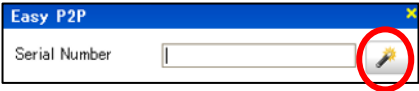

■ DVRの登録

DVRがPCと同じローカルエリアネットワーク内にある場合は検索ボタンで追加できます。異なるローカルエリアネットワークの場合は「追加」ボタンをクリックし、以下の項目を設定します。

1. DVR/NVR INFORMATION

IPアドレスやDDNSを利用してDVRに接続する場合は「IPアドレス」と「ポート」の欄を入力する必要があります。また、DVRを接続しているルーターの該当するポートを開放する必要があります。ポート開放の方法はルーターの取扱説明書などを参照するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。難しい場合は下記の「EasyP2P」機能を使って接続してください。（→P.10）

モデル	「AUTO」のままご利用ください。
DVD名称	任意の名前を入力します。わかりやすいものにしてください。
IPアドレス	DVRのDDNS名またはIPアドレスを入力します。 (本体のネットワークの設定でDDNSの設定を「デフォルト」にした場合、DDNS名は“ DVRのホスト名 .dvrhost.com”になります。DVRのホスト名はDVR本体のメインメニューの「システム情報」で確認できます。)
ポート	DVRに割り当てたポート番号を入力します。初期設定は「7000」です。DVRを接続しているルーターのポートを開放する必要があります。ポート開放の手順はルーターの取扱説明書などを参照するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
ユーザー	DVRにログインするユーザーの名前を入力します。初期設定は「admin」です。
パスワード	DVRにログインするためのパスワードを入力します。
その他	このデバイスに関して覚えておきたい情報をメモすることができます。

Download Path	DVRに録画された映像をパソコンにダウンロードする場合のダウンロード先フォルダを指定します。
自動接続	チェックを入れるとEMS2をオンラインにしたときに自動的にデバイスをネットワークに接続します。
EasyP2P	<p>IPアドレスの入力やポート開放をすることなしにデバイスをネットワークに接続することができます。(Easy P2P Settingで接続した場合、接続してから5分経過すると自動的に接続が一旦切断されます。切断されることなくライブ映像を見るにはEasy P2P Settingを利用せずに接続する必要があります。)</p> <p>※ この設定を行うには、画面左上の「ファイル」→「設定」→「その他」の「Easy P2P OFF」のチェックをはずす必要があります。</p> <p> をクリックすると下のようなウィンドウが表示されますのでDVRのホスト名を入力してください。DVRのホスト名はDVR本体のメインメニューの「システム情報」で確認できます。</p> <p></p> <p>入力後、右のアイコンをクリックすると下のようなウィンドウが表示されます。「OK」をクリックしてください。</p> <p></p> <p>「IPアドレス」と「ポート」が自動で入力されます。「DVR名称」と「パスワード」を入力して「適用」をクリックします。</p> <p>※ Easy P2PでDVRに接続した場合、実際の時間より遅れてライブ映像が表示されたり、ライブ映像が時々中断するなど、映像がやや不安定になります。ご了承ください。</p>

2. SEHEDULE BACKUP

定期的に録画データのバックアップを取る機能です。

ON/OFF	予約バックアップ機能を使用する場合は「ON」を選択します。
--------	-------------------------------

毎日/毎時	「毎日」を選択した場合、1日に1回1日分のダウンロードを行います。「毎時」を選択した場合、1時間に1回1時間分のダウンロードを行います。
ノーマル/モーション/イベント	ダウンロードの対象とする録画モードを選択します。
チャンネル	ダウンロードするチャンネルを選択します。

3. ツリー表示

ウインドウ左側のデバイスリストの表示の有無を切り替えます。

4. EMS2ログ

EMS2が実行されている間の全てのイベントのログ（記録）の中から最大 1000件までを表示します。

The screenshot shows the EMS2 Log window with the following search filters:

- 開始: 2018/10/02 18:01:26
- 終了: 2018/10/18 14:46:11
- DVR 名称: DVR2
- チャンネル: (empty)
- 検索: (empty)
- 自動更新:

The log table below shows the recorded events:

DVR 名称	EMS時間	DVR時間	メッセージ
DVR2	2018/10/18 15:24:43	2018/10/18 15:18:36	モーション検出 ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:43	2018/10/18 15:18:36	Motion record start ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:42	2018/10/18 15:18:36	Motion record stop ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:38	2018/10/18 15:18:31	モーション検出 ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:38	2018/10/18 15:18:31	Motion record start ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:38	2018/10/18 15:18:31	Motion record stop ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:27	2018/10/18 15:18:20	モーション検出 ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:27	2018/10/18 15:18:20	Motion record start ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:25	2018/10/18 15:18:19	Motion record stop ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:15	2018/10/18 15:18:09	モーション検出 ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:15	2018/10/18 15:18:09	Motion record start ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:15	2018/10/18 15:18:08	Motion record stop ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:12	2018/10/18 15:18:06	Motion record start ch1
DVR2	2018/10/18 15:24:12		接続されました
DVR2	2018/10/18 14:46:08		ネットワーク失敗
DVR2	2018/10/17 18:14:44		ネットワーク失敗
DVR2	2018/10/17 13:48:09		ネットワーク失敗

Buttons at the bottom: サムネイル, 検索, 次, 印刷, エクスポート, OK

開始	ログ取得の開始日時。
終了	ログ取得の終了日時。

DVR名称	文字列を入力するとそれを名称に含むDVRのログを表示します。
チャンネル	特定のチャンネルで起きたイベントを抽出します。
検索	文字列を入力すると「メッセージ」にその文字列を含むログを表示します。
自動更新	ログリストに表示するログをリアルタイムで更新します。
コントロールボタン	ログリストで選択した映像をコントロールします。
ログリスト	イベントの記録を表示します。選択するとコントロールボタンで再生できます。
サムネイルボタン/ レポートボタン	ログリストの表示方法をサムネイル（小さい静止画）かレポート（通常の言語表示）かに設定します。（ボタンをクリックするとそのモードに切り替わります。つまり「サムネイル」というボタンが表示されているときは「レポート」モードであり、「レポート」と表示されているときは「サムネイル」モードであることを意味します。）
検索ボタン	ログを検索します。1000行まで表示します。
次ボタン	検索結果が1000行を超える場合、次の1000件までを追加します。
印刷ボタン	表示されたログリストを印刷します。
エクスポートボタン	表示されたログリストをテキストファイルとして保存します。
OKボタン	ウィンドウを閉じます。

5. 新しい仮想DVR

仮想DVRはツールバーのボタンで追加するか、画面左のデバイスリストのグループ内に右クリックメニューで追加します。（仮想DVRについて→P.29）








6. MUTEボタン

音声のミュート機能のオン/オフを切り替えます。アイコンが青のときに音声は出力され、赤のときは音声は出力されません。切り替えたあと、一度メインウィンドウを閉じてから開くと設定が適用されます。音声を出力させるにはDVRにマイクやマイクつきカメラを接続する必要があります。（弊社ではマイクの販売は行っていません。）

7. ツリーウィンドウ







7.1. ツリーウィンドウ内のアイコン

DVRが追加されると、そのアイコンは画面左側のツリーウィンドウに表示されます。ツリーウィンドウに表示されるアイコンには以下のようなものがあります。

	グループとサブグループを表します。複数のDVRをわかりやすく分類するのに使います。
	DVRを表します。
	仮想DVRを表します。
	カメラを表します。「+」をクリックすると個々のカメラを表示します。
	アラーム（センサー）入力を表します。「+」をクリックすると個々のアラーム（センサー）を表示します。（弊社は外付けのセンサーを販売しておりません。）
	アラーム出力を表します。「+」をクリックすると個々のアラーム出力を表示します。（当社は外付けのアラームを販売しておりません。）
	Eマップを表します。（→P.41）

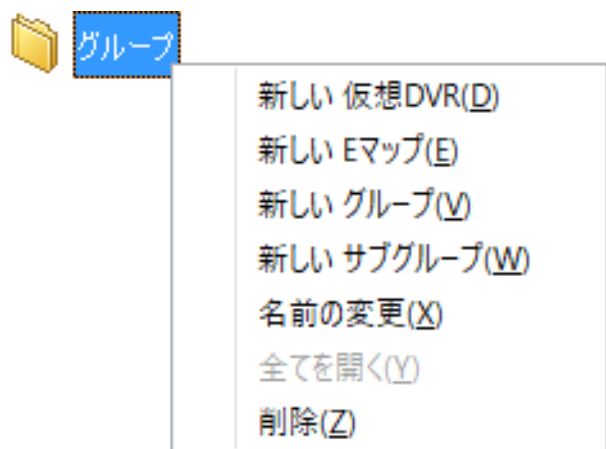
7.2. ツリーウィンドウ内のデバイスの状態

デバイスの状態によってアイコンが変化します。

DVR		DVRに接続されています。
		DVRに接続されていません。
		DVRに接続されていない時間があったが、現在は接続されていることを表します。
カメラ		カメラに接続されていますが、録画されていません。
		カメラに接続されており、DVRに録画中です。
		ビデオロスの状態です。

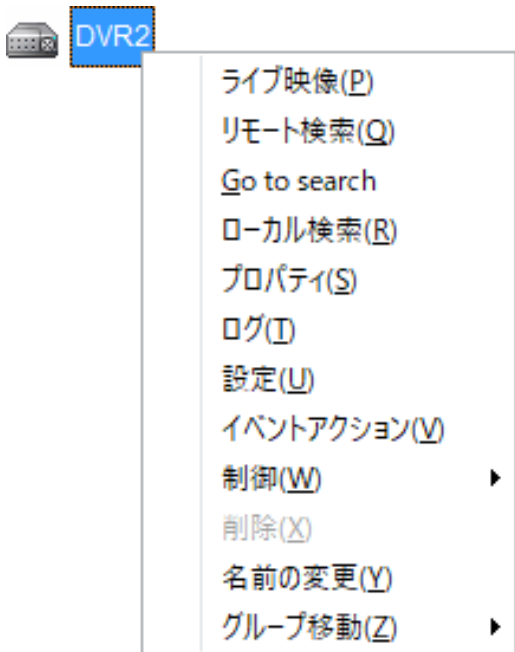
7.3. 各アイコンの右クリックメニュー

①グループ



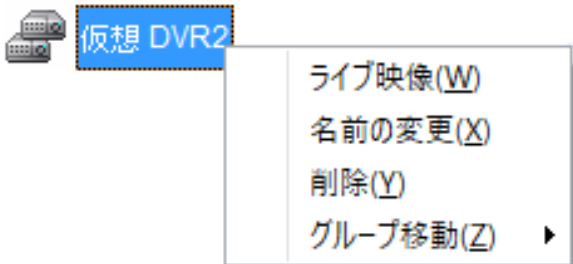
新しい仮想DVR	仮想DVRを作成します。
新しいEマップ	Eマップを作成します。
新しいグループ	同じ階層にグループを作成します。
新しいサブグループ	グループ内にサブグループを作成します。
名前の変更	名前を変更します。
全てを開く	グループ内の全てのDVRのライブ映像とEマップをメインウィンドウに表示します。
削除	グループをリストから削除します。

②DVR



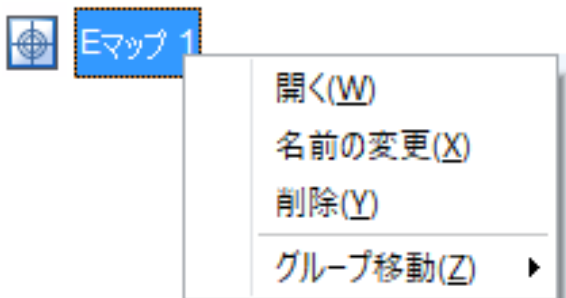
ライブ映像	ライブ映像を右側のメインウィンドウに表示します。
リモート検索	DVRに録画された映像を検索します。
Go to search	DVRに録画された映像を時間を指定して検索します。
ローカル検索	DVRからPCにバックアップした映像を検索します。
プロパティ	DVRのシステム情報を表示します。
ログ	DVRのログを表示します。
設定	DVRの設定メニューを表示し、遠隔で設定します。それぞれの設定に関してはDVRの取扱説明書を参照してください。
イベントアクション	DVRのイベントアクションを設定します。イベントアクションとはイベントをきっかけとしてPCやDVRに特定のアクションを実行させる機能です。
制御	DVRの録画開始と停止、設定のエクスポートとインポートを制御します。「アップデート」の項目は使用しません。 エクスポート：DVRの設定をファイルに書き出します。 インポート：書き出した設定を別のDVRで読み込みます。この作業を行うときはDVRの録画を停止してください。
削除	DVRをデバイスリストから削除します。
名前の変更	DVRの登録名を変更します。
グループ移動	DVRを別のグループに移動します。

③仮想DVR（仮想DVRについてはP.29～）



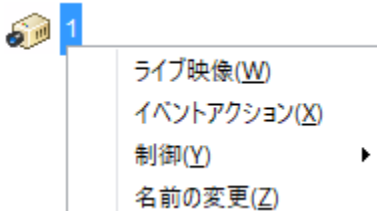
ライブ映像	仮想DVRのライブ映像をメインウィンドウに表示します。
名前の変更	仮想DVRの名前を変更します。
削除	仮想DVRをデバイスリストから削除します。
グループ移動	仮想DVRを別のグループに移動します。

④Eマップ（EマップについてはP.41～）



開く	Eマップをメインウィンドウに表示します。
名前の変更	Eマップの名前を変更します。
削除	Eマップを削除します。
グループ移動	Eマップを別のグループに移動します。

⑤カメラ



ライブ映像	ライブ映像をメインウィンドウに表示します。
イベントアクション	DVRのイベントアクションを設定します。イベントアクションとはイベントをきっかけとしてPCやDVRに特定のアクションを実行させる機能です。

制御	PTZカメラを接続している場合、制御することができます。
名前の変更	DVRの登録名を変更します。

8. メインウィンドウ

ツリーウィンドウの右側にあるのがメインウィンドウです。DVRや仮想DVRを開くとメインウィンドウにタブ形式で表示されますが、別の独立したウィンドウで表示することもできます。

タブ表示から独立したウィンドウの表示に切り替えるには、タブをドラッグして表示したい場所でドロップします。独立したウィンドウの表示からタブ表示に切り替えるときは、独立したウィンドウのタイトルバーをドラッグして、ウィンドウの左上の角をメインウィンドウの左上の角に合わせてドロップします。

9. Eマップ

Eマップを表示します。地図や間取り図にカメラの位置などを示すためのものです。(→P.41)

10. ライブ映像

DVRのライブ映像を表示します。

11. ヘルスチェック

各デバイスの状態を一覧表で表示するヘルスチェックウィンドウを表示します。このウィンドウはツリーウィンドウ下の「ミニヘルス」ウィンドウをダブルクリックすることでも表示されます。

11.1. 背景色について

ヘルスチェックウィンドウの背景色には次のような意味があります。












白色	DVRに正常にネットワーク接続されている状態
水色	過去にDVRとのネットワーク接続が切れたが、現在は復旧している状態
ピンク色	DVRとのネットワーク接続が、現在切断されている状態

11.2. ヘルスチェック

DVR ヘルスチェック												
項目	DVR 名称	HDD	録画	予約録画	バックアップ	ファン		温度		イベント		
						システム	CPU	システム	CPU	アフォーム	モーション	ビデオロス
1	158											
2	45											
3	86											
4	85											
5	102											
6	47											
7	155											

■ 各項目とアイコンについて

項目	DVRの通し番号を表示します。	
DVR名称	DVRの名前を表示します。	
HDD		HDDの状態が正常であることを示します。
		HDDで過去にエラーが発生したが、現在は復旧している事示します。
		HDDにエラーが発生していることを示します。
録画		EMS2の起動時から録画が開始されている状態を示します。
		過去に録画が停止されたが、現在は録画が開始されている状態を示します。
		録画が停止されている状態を示します。
予約録画		EMS2の起動時から録画が開始されている状態を示します。
		過去に予約録画が停止されたが、現在は予約録画が開始されている状態を示します。
		予約録画が停止されている状態を示します。

バックアップ		EMS2 起動時から既にバックアップ中の状態を示します。	
		過去にバックアップが実行されていない状態だったが、現在はバックアップ中の状態を示します。	
		バックアップが実行されていない状態を示します。	
ファン	この項目は表示されません。		
温度	この項目は表示されません。		
イベント	アラーム		EMS2 起動時からイベント／アラーム録画が実行されていないことを示します。
			過去にイベント／アラーム録画が実行されたが、現在は実行されていない状態であることを示します。
			現在、イベント／アラーム録画中のチャンネルがあることを示します。
	モーション		EMS 起動時から、モーションが検出されていないことを示します。
			過去にモーションが検出されたが、現在は検出されていない事を示します。
			現在、モーションを検出していることを示します。
	ビデオロス		EMS2 起動時からビデオロスが発生していないことを示します。
			過去にビデオロスが発生したが、現在は復旧していることを示します。

2. EMS2の設定

画面左上の「ファイル」メニューから「設定」に入ります。

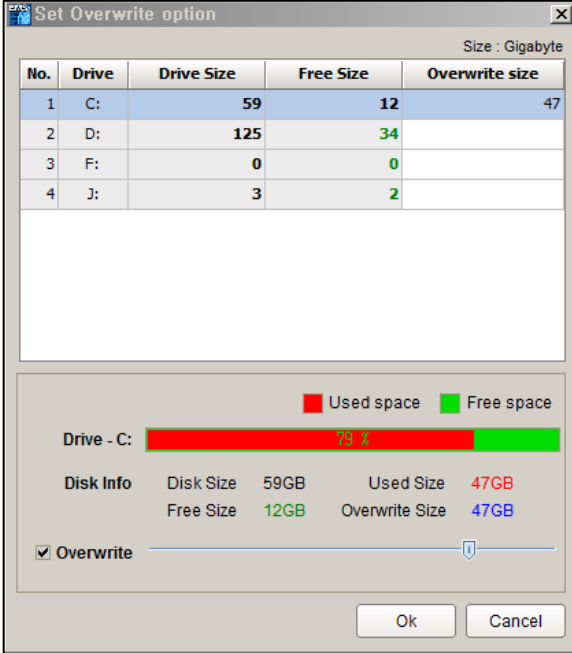
The screenshot shows the '設定' (Settings) dialog box with the following sections and options:

- OSD 設定**
 - 時刻
 - DVR名
 - カメラ番号
 - カメラタイトル
 - フレームレート
 - 状態
 - 日付
- パスワード**
 - ユーザーID: admin
 - 現在のパスワード: []
 - 新しいパスワード: []
 - パスワード確認: []
- その他**
 - ウォーターマーク
 - 終了時の画面保持
 - EMS Application Window Size Maximize
 - Eマップにイベントを関連付ける
 - DVRログ表示を1000行に制限
 - 警告メッセージ
 - 映像ポップアップウィンドウ
 - 警告音のお知らせ
 - Easy P2P OFF
 - H.265 ディスプレー最適化
 - PTZ Press
 - シーケンス切替時間: 3 秒
 - 警告ウィンドウ時間: 10 秒
- ビデオ形式**
 - NTSC
 - PAL
- 分割画面数**
 - 最大16
 - 最大64
- ビデオレンダラー**
 - Video Renderer Default
 - Video Renderer
 - VMR7
 - VMR9
- DeInterlace Setting**
 - Fast (Drop)
 - Deinterlace (S/W)
 - Original
- EMS Log Overwrite**
 - Overwrite
 - 0 日
- Maximum Resolution**
 - 720 x 480
 - 1440 x 960
 - 1920 x 1080
 - 2560 x 1440
- OSD Font size**
 - 自動
 - 1
 - 2
 - 3
 - 4
 - 5
- Reference Site**
 - 使用
 - http:// []
- Default Download Path**
 - C:\Users\Public\Documents\EMS2\Download\ []
 - Overwrite
 - Set Overwrite Option
- バージョン**
 - APPバージョン: 1.7.6.0
 - サービスバージョン: 1.3.4.0
 - コーデックバージョン: 3.3.4.6
 - ダウンロードDLLバージョン: 3.0.4.4

各メニューの説明

OSD設定	各項目をライブ画面に表示するかどうかを選択します。
パスワード	パスワードを変更することができます。(EMS 2 のパスワードです。DVRのパスワードではありません。)

その他	ウォーターマーク	映像に電子透かしの処理がされていないかチェックします。
	終了時の画面保持	EMS2の終了時のメインウィンドウの状態を記憶し、次の起動時にメインウィンドウをその状態で開きます。
	EMS Application Window Size Maximize	ウィンドウを最大化した状態で起動します。
	Eマップにイベントを関連付ける	イベント発生時に別のEマップの中に配置されたEマップのアイコンが点滅します。
	DVR ログ表示を1000行に制限	DVRログリストで、一度の操作で検索できる行数を1000行に制限します。
	警告メッセージ	イベントアクション機能で、イベント発生時などに警告メッセージを表示させる場合にチェックします。
	映像ポップアップウィンドウ	チェックをはずすとイベントアクション機能（→P.38）のライブビデオ表示ができなくなります。
	警告音のお知らせ	音による警告の有効/無効を切り替えます。
	Easy P2P OFF	チェックを入れるとP2P機能を利用できなくなります。
	H.265ディスプレイ最適化	この機能はサポートしていません。
	PTZ Press	
	シーケンス切替時間	メインウィンドウのタブの自動切替時間を設定します。
	警告ウィンドウ時間	警告ウィンドウを表示する時間を指定します。
ビデオ形式	接続するデバイスの映像信号方式を指定します。NTSCを選択してください。	
分割画面数	分割画面表示の最大分割数を選択します。	
ビデオレンダー	初期設定では「Video Render Default」に設定されています。「Video Render Default」でライブ及び再生映像が正しく表示されない場合は「Video Render」「VMR 9」「VMR 7」を順に試して、タブ表示・ウィンドウ表示・全画面表示が全て正しく表示される状態に設定してください。	
Deinterlace	通常は「Deinterlace (SW)」に設定してください。スムーズな映像が見られない場	

Setting	合は、「Fast (Drop) 」か「Original」に設定してください。
EMS Log Overwrite	EMS2のログを保存する日数を設定します。
Maximum Resolution	EMS2で映す映像の最高の解像度を設定します。通常は1920×1080を選びます。
OSD Font size	画面中の文字表示のサイズを設定します。
Reference Site	参照するサイトが必要な場合に入力し、「使用」にチェックを入れます。
Default Download Path	<p>各DVRの“Download Path”（保存場所）の初期値を指定します。ここで指定したパスは、デバイスマネージャーでDVRを追加するときに“Download Path”の初期値として引用されます。</p> <p>上書き設定をするには "overwrite" ボックスをチェックし、「Set Overwrite Option」ボタンをクリックします。</p> <p>「Set Overwrite Option」ウィンドウが表示されます。下のスライダーでディスクの使用量を設定し、制限します。</p>
	
	<p>※上書きされるデータが書き込まれた後に既存のデータが削除されます。従って、制限容量を一時的に多少超える場合があります。</p> <p>※バックアップ先のドライブには、OS のシステムドライブとは別のドライブを使用することを強くお勧めします。</p>
バージョン	EMS2のバージョンを示します。

3. EMS2アカウント

画面左上の「ファイル」を開き、「EMS2アカウント」を選択します。

EMS2を操作することが出来るユーザーを管理します。このユーザーはWindows のユーザーやDVR のユーザーとは独立して管理されています。最大20人まで増やすことができます。

ユーザー追加の手順は、「追加」ボタンをクリックした後、「ユーザー情報」「使用DVR リスト」「権限」を設定してから「適用」ボタンで設定を保存します。

ユーザーリスト	ユーザー情報	使用DVRリスト
user1	ユーザーID: <input type="text"/> パスワード: <input type="text"/> パスワード確認: <input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/> DVR2 <input checked="" type="checkbox"/> DVR1

ウインドウ	機能	使用
メイン	仮想DVR編集	<input checked="" type="checkbox"/>
メイン	デバイス制御	<input checked="" type="checkbox"/>
メイン	デバイス設定	<input checked="" type="checkbox"/>
メイン	ダウンロード	<input checked="" type="checkbox"/>
メイン	再生	<input checked="" type="checkbox"/>
Eマップ	表示	<input checked="" type="checkbox"/>
Eマップ	編集	<input checked="" type="checkbox"/>
デバイスマネージャー	表示	<input checked="" type="checkbox"/>
ライブ映像	ローカル録画	<input checked="" type="checkbox"/>
ライブ映像	PTZ 制御	<input checked="" type="checkbox"/>
イベントアクション	表示	<input checked="" type="checkbox"/>
イベントアクション	編集	<input checked="" type="checkbox"/>
DVRヘルスチェック	表示	<input checked="" type="checkbox"/>
EMSログ	表示	<input checked="" type="checkbox"/>
ログ	表示	<input checked="" type="checkbox"/>
POSデータ検索	表示	<input checked="" type="checkbox"/>

追加 削除 適用 OK 取消

①	ユーザーリスト	EMS2に登録されているユーザーのリストを表示します。
②	ユーザー情報	選択したユーザーの IDとパスワードを変更する場合に使用します。
③	使用DVRリスト	選択したユーザーに対してアクセスを許可するデバイスを選択します。
④	各項目	選択したユーザーに対して操作を許可する機能を選択します。
⑤	追加	新しいユーザーを追加します。
⑥	削除	選択したユーザーを削除します。
⑦	適用	選択したユーザーの設定の変更を保存します。
⑧	OK	選択したユーザーの設定の変更を保存してウィンドウを閉じます。
⑨	取消	選択したユーザーの変更を保存せずにウィンドウを閉じます。

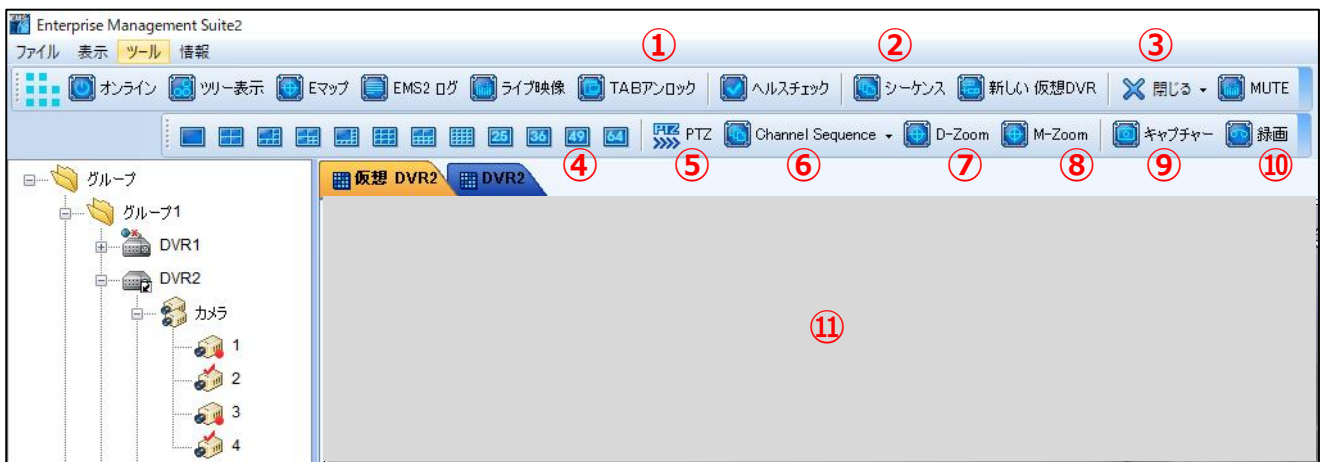
V DVRの制御

1. ライブ映像

DVRと仮想DVRのライブ映像を表示できます。









1. DVR











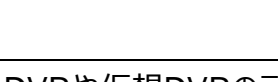
DVRアイコンをダブルクリックするか、DVRを選択した状態で「ライブ映像」ボタンをクリックするとライブ映像が表示されます。



各アイコンの説明

①	TABアンロック	EMS2では、メインウィンドウにタブ形式で表示される「ライブ」「再生」「E マップ」「ヘルスチェック」等のウィンドウを別のウィンドウに分離したり元のタブ形式に統合したりすることができます。	
		TABアンロック	タブ形式で表示されているメインウィンドウをドラッグアンドドロップで独立したウィンドウで表示できる状態にあることを示します。
		TABロック	上の操作ができない状態にあることを示します。
		ドッキング	独立したウィンドウで表示されているメインウィンドウをドラッグアンドドロップでタブ形式で表示できる状態にあることを示します。
		アンドッキング	上の操作ができない状態にあることを示します。

②	シーケンス	メインウィンドウのタブを自動切替表示します。		
③	閉じる	閉じる	メインウィンドウに表示されている 1つのタブを閉じます。	
		全て閉じる	全てのタブを閉じます。	
④	画面分割オプション	ライブ及び再生ウィンドウで、分割表示の分割数を指定します。この分割数はDVRのチャンネル数に関係なく指定することができます。(最大64分割)		
⑤	PTZ	DVRにPTZ(パン・チルト・ズーム)カメラが接続されている場合、ライブウィンドウ(DVR、仮想DVR)が表示されている状態でPTZボタンをクリックすると、左のようなPTZ コントロールボックスが表示されます。 (弊社ではPTZカメラを販売しておりません。)		
				
		パン、チルト、ズーム		
			矢印のボタンでPTZカメラを動かします。 「+」と「-」のボタンはズームの操作を行います。	
		フォーカス		
			レンズの焦点を遠距離側に動かします。	
			レンズの焦点を近距離側に動かします。	
			オートフォーカス(自動焦点)にします。	
		アイリス		
			アイリス(絞り)を開く側に動かします。	
			アイリス(絞り)を閉じる側に動かします。	
	オートアイリス(自動絞り)にします。			
プリセット				
	プリセットを登録します。このボタンをクリックした後に、表示されたウィンドウにプリセット番			

			号を入力し、OKボタンをクリックします。
			プリセットを呼出します。このボタンをクリックした後に、表示されたウインドウにプリセット番号を入力し、OKボタンをクリックします。
			カメラのツアー機能を実行します。
		特殊機能	
			このボタンはサポートしていません。
		オートPTZ	
			オートパン機能を実行します。
			オートチルト機能を実行します。
			このボタンはサポートしていません。
		その他	
			カメラの設定メニューを表示します。もう一度押すと終了します。
			カメラのメニューを終了します。
			パン、チルトの速度を下げます。
			パン、チルトの速度を上げます。
			パン、チルトのスタンバイ、またはPTZ カメラのライトをON /OFF します。
⑥	Channel Sequence	DVRや仮想DVRのライブ画面の中で、チャンネルを自動的に切り換えます。右の矢印をクリックすると設定を行うことができます。	
⑦	D-Zoom	ズーム操作のコントローラーを表示します。元の倍率に戻るときはコントローラーの下の「Press the button to restore the screen.」の部分をクリックします。	
⑧	M-Zoom	特定のエリアを拡大して右下のウインドウに表示します。エリアはマウスで選びます。	
⑨	キャプチャー	現在表示している映像を静止画としてファイルに保存する、または「キャプチャーと印刷」ウインドウを開きます。	

⑩	録画	DVRの映像をEMS2が動作しているパソコンに録画することができます。録画ボタンをクリックするごとに録画と停止が切り替わります。赤いアイコンは録画中であることを示します。	
⑪	メインウィンドウ	OSD表示（画面上の文字表示）	
		カメラタイトル （画面左上）	カメラ番号とカメラタイトルを表示します。
		日時（画面右上）	映像が撮影された日時を示します。
		ステータス （画面左下）	チャンネルの状態を示します。 REC：常時録画中 WAIT：接続中 LOSS：ビデオロス CLOSE：DVRの接続切れ EVENT：イベント録画中 PB：再生中 LIVE：ライブ監視中（録画されていない状態）
		フレーム数 （画面右下）	1秒間のフレーム数を示します。
		各チャンネルの右クリックメニュー（ライブ画面）	
		リモート検索	→P.31
		PTZ制御	→P.26
		Audiocommunication	クリックするとウィンドウが開きます。使用するデバイスを選択し、「トーク」ボタンをクリックした状態で接続したマイクに向かって話すと、DVRのAUDIO出力から音声データが出力されます。（使用するときはDVRの「設定」→「ネットワーク」→「一般」の「双方向オーディオ」の「使用」にチェックを入れてください。）
		各チャンネルの右クリックメニュー（再生画面）	
		検索	検索画面に戻ります。

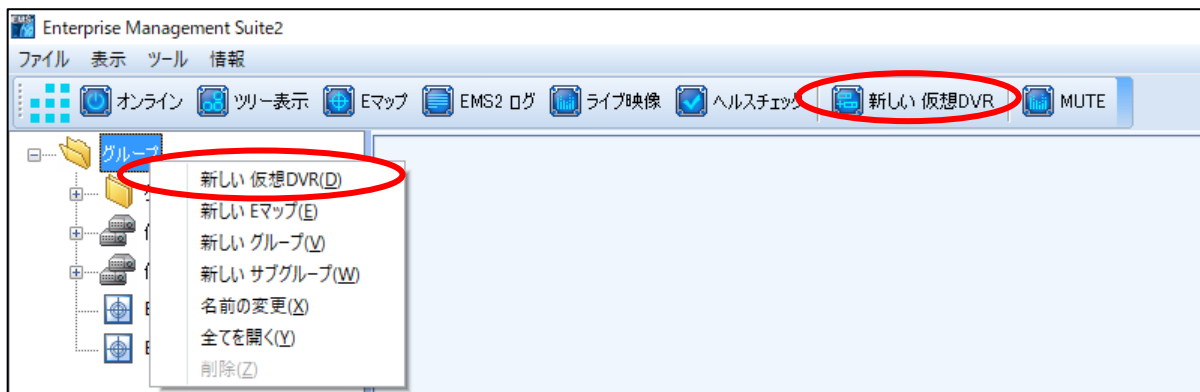
2. 仮想 DVR

1) 仮想 DVR とは

仮想DVRとは複数のDVRの中からチャンネルを自由に選択し、個々のDVRと同じように1つのウインドウの中に表示する機能です。（最大64画面）仮想DVRの監視は通常のDVRと同じように行います。

2) 仮想DVRの追加

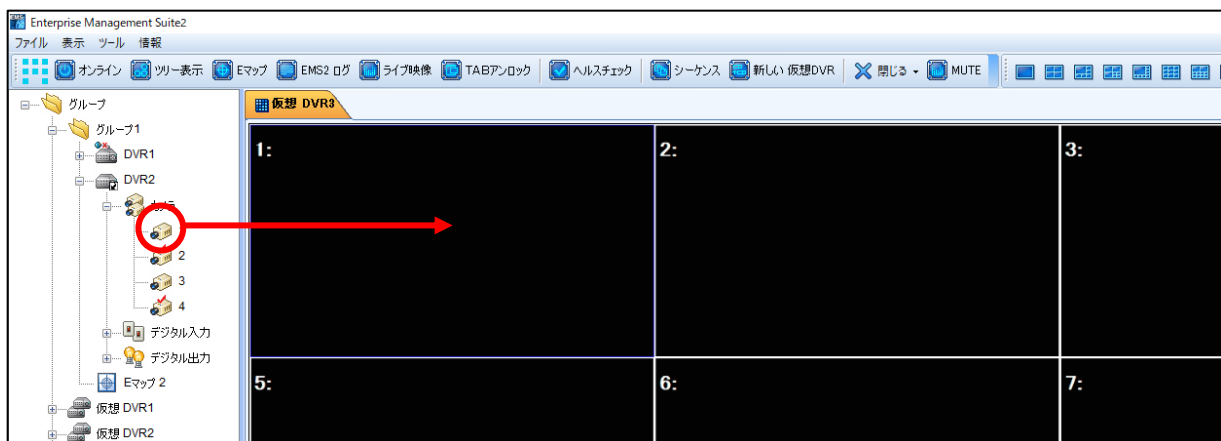
仮想 DVRはデバイスリストの「グループ」の右クリックメニュー、またはツールバーの「新しい仮想DVR」ボタンで追加します。



仮想DVRのアイコンをダブルクリックするとライブ監視画面が開きます。

3) 仮想DVRへのチャンネルの追加

DVRのチャンネル全てを追加するには、ツリーウインドウ内のDVRのアイコンを仮想DVRのメインウインドウにドラッグアンドドロップします。特定のチャンネルを選んで追加するには、ツリーウインドウ内のDVRのアイコンの左の「+」をクリックして展開し、個々のカメラのアイコンをドラッグアンドドロップします。

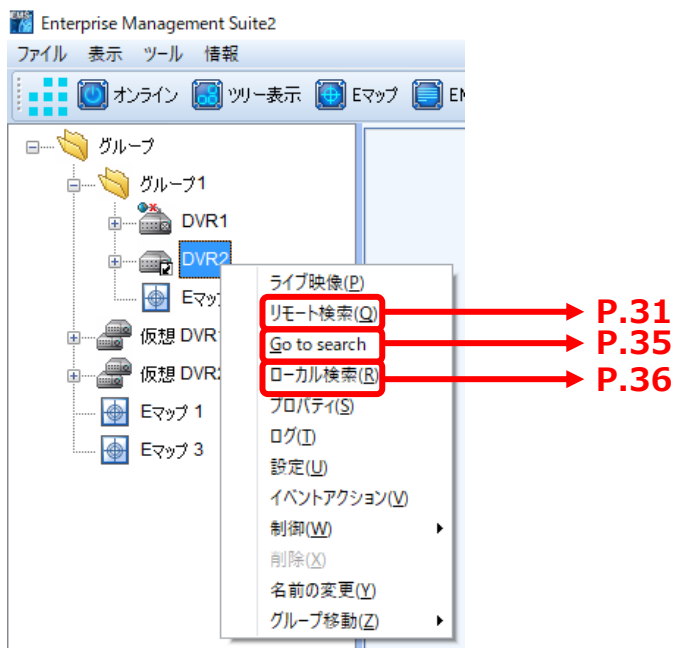


4) チャンネルの削除

仮想DVRから登録されたチャンネルを削除するには、メインウインドウの該当するチャンネル部分を右クリックして、表示されたメニューから削除を選択します。

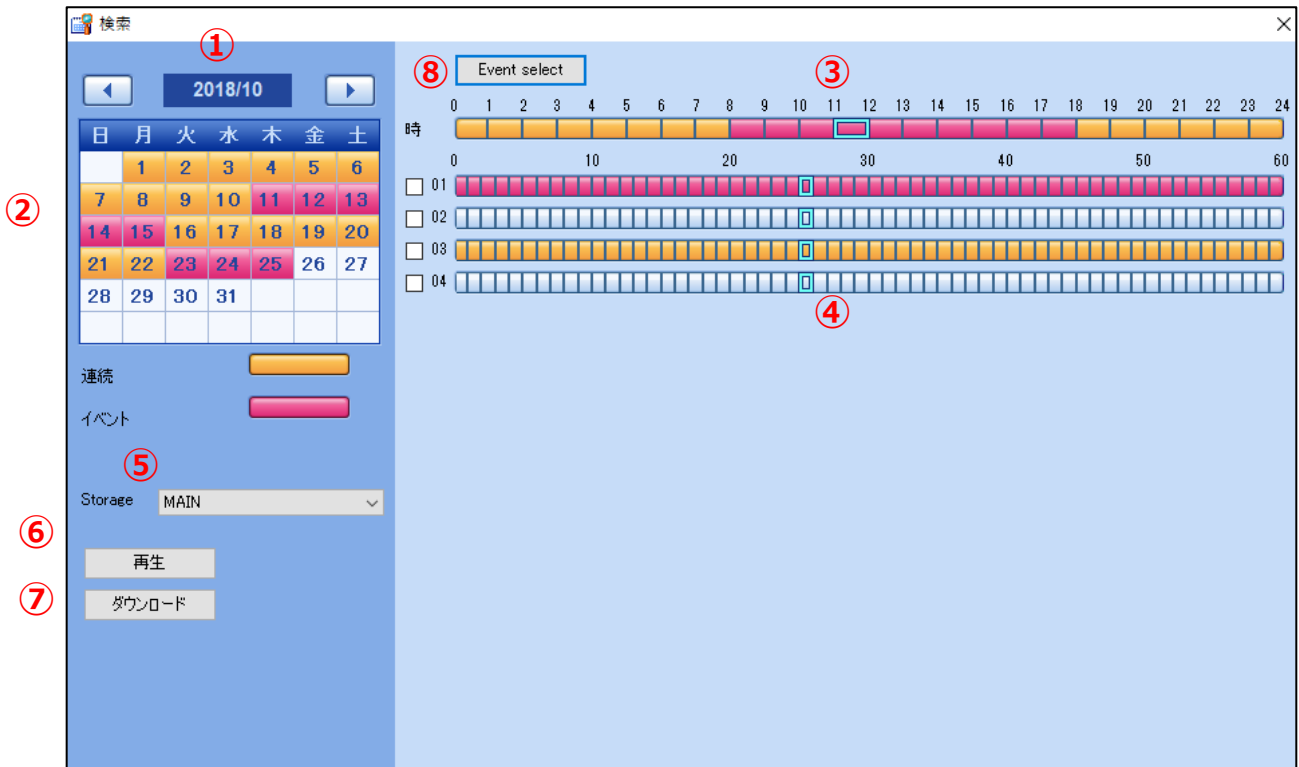
2. 再生

EMS2で録画映像を再生する方法は大きく分けて2種類あります。DVR に録画されている映像を再生する方法と、EMS2 を実行しているパソコンに保存されている映像を再生する方法です。



1. リモート検索

リモート検索は、DVRに録画されている映像を再生したり PC にダウンロードしたりする機能です。DVR のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「リモート検索」を選択します。



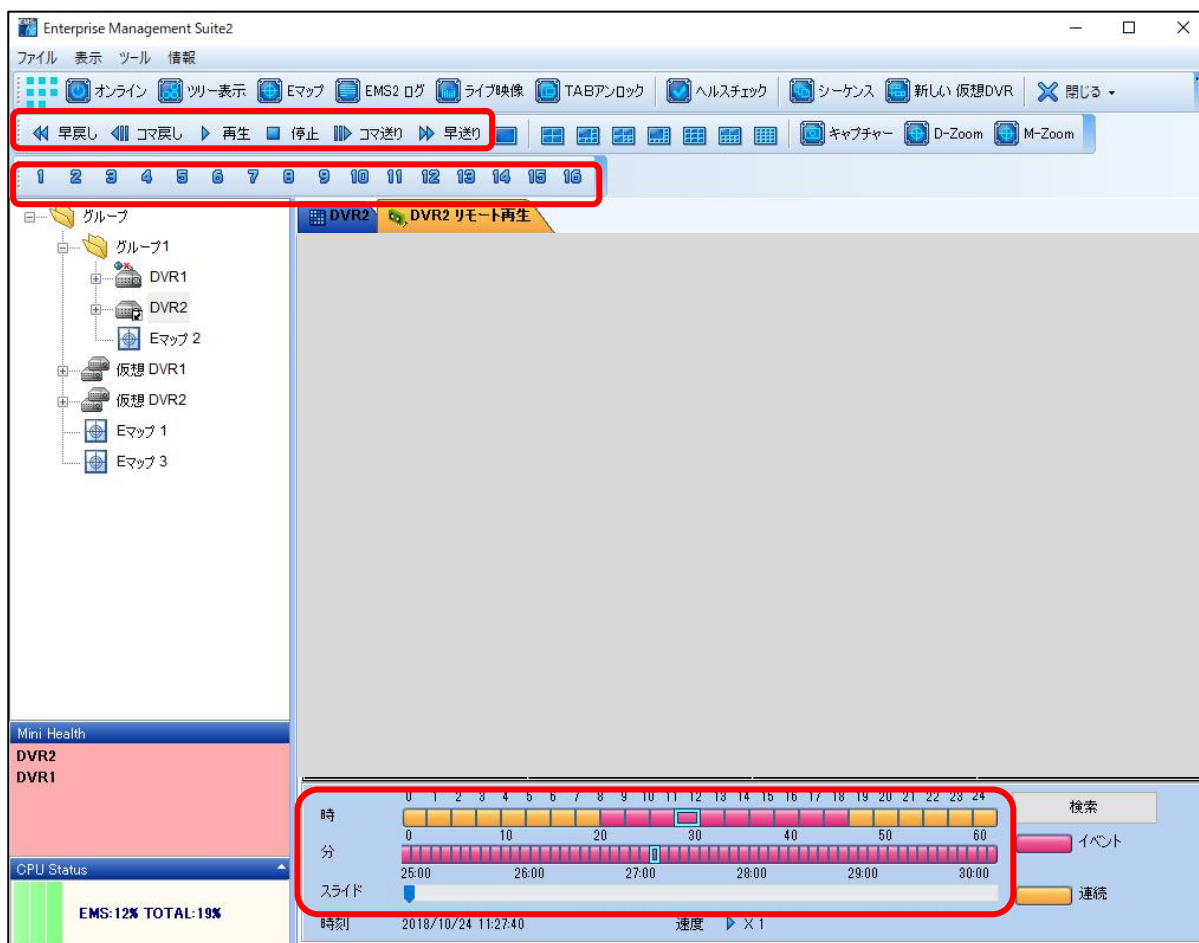
映像を選択するには、①「年月（左右の矢印で変更）」→②「日」→③「時」→④「分」の順に時間を指定します。

連続録画のデータは黄色、イベント録画のデータは赤で表示されます。

⑤	Strage	この機能は使用しません。
⑥	再生	指定した時間から再生を始めます。（→P.32）
⑦	ダウンロード	指定した範囲の録画映像をPCにダウンロードします。時間のグラフを左クリックした状態でマウスを左右に動かすと時間の範囲を指定することができます。（→P.37）
⑧	Event select	条件を指定して映像を検索します。（→P.33）

1) 再生

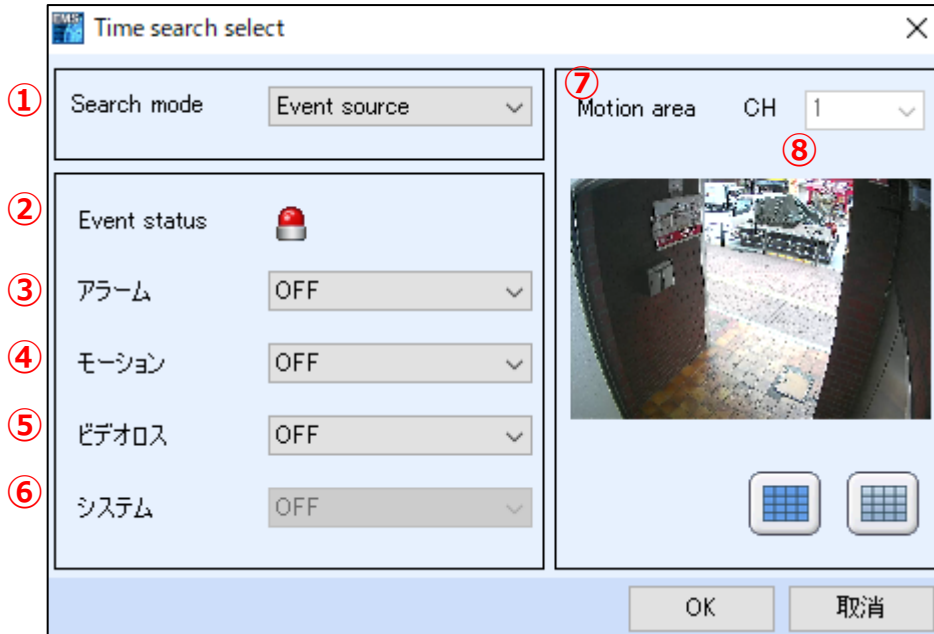
「再生」をクリックすると次のような画面になります。










まず画面下部のグラフで時間を指定します。次に画面上部のチャンネル選択ボタンでチャンネルを選択し、画面上部の制御ボタンで映像を制御します。

2) Event select

P.31の⑧の「Event select」ボタンをクリックすると「Time search select」ウィンドウが表示されます。指定した条件に合う映像をイベントとして表示します。



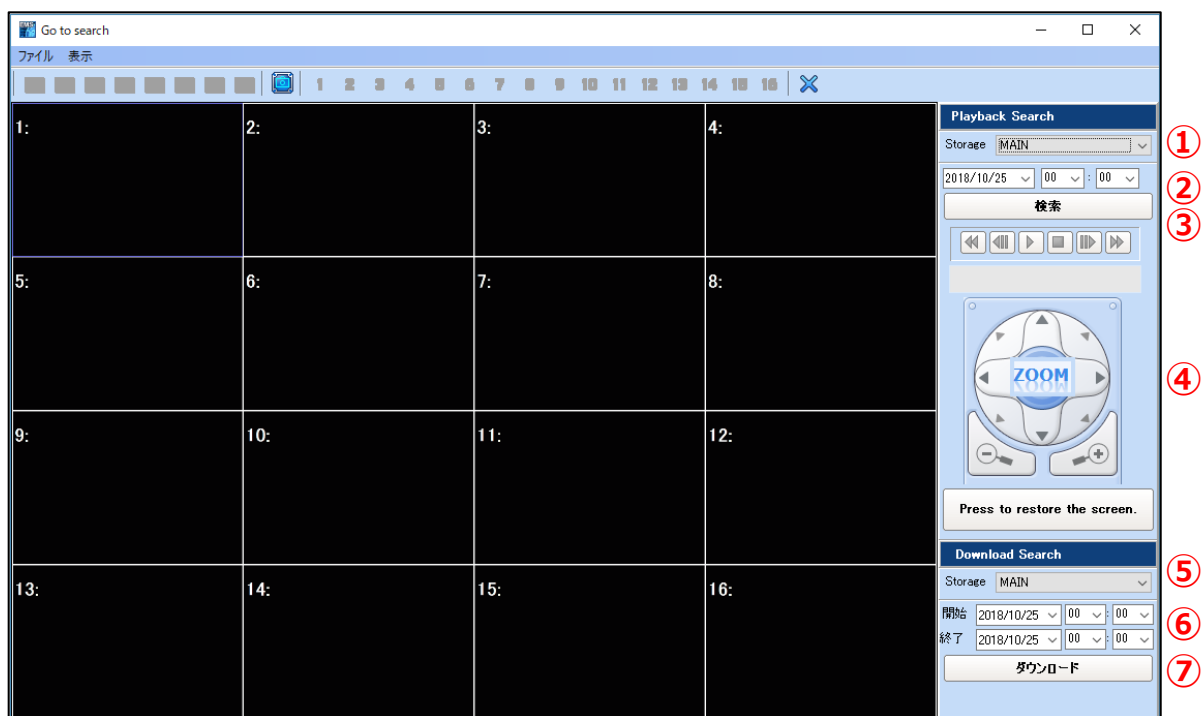
①	Search mode	イベント録画	イベント録画の映像全てを検索します。
		Event source	②から⑤の項目で条件を指定して検索します。
		Motioin area	指定したエリアで動きを検知した映像を検索します。 (P.34 ⑦参照)
②	Event states	①の「Search mode」で「Event source」を選択すると右にアラームの形のアイコンが表示されます。クリックすると下のようなウィンドウが表示されます。	

		下の③から⑤の項目を一つの画面で設定するための機能です。（「システム」の項目はサポートしていません。）「OK」をクリックすると検索します。				
③	アラーム	①の「Search mode」で「Event source」を選択し、設定します。アラーム録画の映像を検索します。1から4の数字はチャンネルを表します。				
④	モーション	①の「Search mode」で「Event source」を選択します。モーション録画の映像を検索します。1から4の数字はチャンネルを表します。				
⑤	ビデオロス	①の「Search mode」で「Event source」を選択します。ビデオロスにより録画された映像を検索します。1から4の数字はチャンネルを表します。				
⑥	システム	この項目はサポートしておりません。				
⑦	Motion area	<p>まず①の「Search mode」で「Motion area」を選択します。画面上でエリアを指定し、そのエリアで動きを検知した映像を検索します。まずチャンネルを指定します。</p>  <p>画面上でエリアが分割されており、マウスを合わせて左クリックするとエリアが選択され、右クリックすると選択が解除されます。</p> <table border="1" data-bbox="491 1301 1457 1467"> <tr> <td></td> <td>全てのエリアを選択します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全てのエリアの選択を解除します。</td> </tr> </table>		全てのエリアを選択します。		全てのエリアの選択を解除します。
	全てのエリアを選択します。					
	全てのエリアの選択を解除します。					

2. Go to search

DVRに録画された映像を、日時を数値で入力することによって検索します。

画面左側のツリーウィンドウの中のDVRのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「Go to search」を選択します。

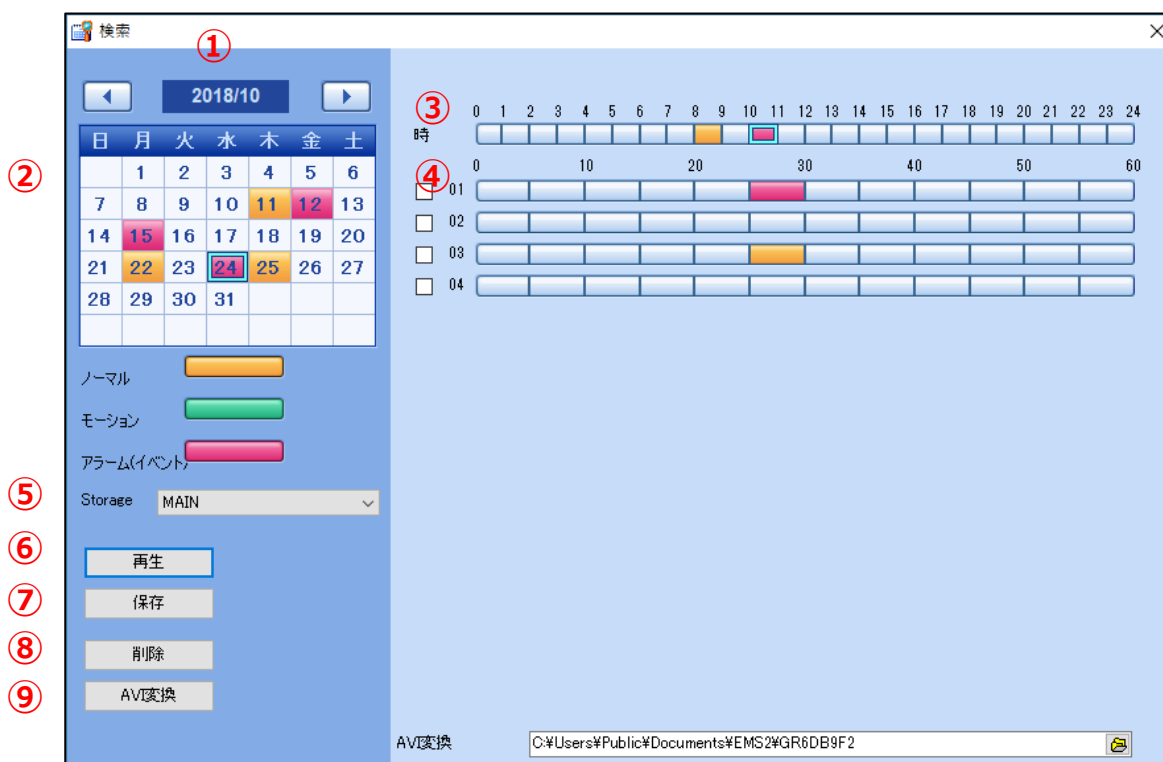


①	Storage	この項目は使用しません。
②	日時/検索	日時を入力して検索します。
③	再生制御	再生を制御します。
④	ズーム制御	ズームを制御します。
⑤	Storage	録画するディスクを選択します。
⑥	開始/終了	ダウンロードを開始する日時と終了する日時を選択します。
⑦	ダウンロード	ダウンロードを開始します。(→P.37)

3. ローカル検索

Local Searchは、既にPC にダウンロードされている映像を再生したり他の場所にコピーしたり AVIファイルに変換したりする機能です。ツリーウィンドウの中のDVRのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「ローカル検索」を選択します。

※ ウィンドウの左側に「ノーマル：黄、モーション：緑、アラーム（イベント）：赤」を示す表示がありますが、モーション録画データも含め、イベント録画データは全て赤で表示されます。



映像を選択するには、①「年月（左右の矢印で変更）」→②「日」→③「時」→④「分」の順に時間を指定します。

⑤	Storage	この項目は使用しません。
⑥	再生	再生を開始します。
⑦	保存	映像をフォルダに保存します。
⑧	削除	映像を削除します。
⑨	AVI変換	AVIファイルに変換します。右側のウィンドウの最下部にファイルを保存するパスを入力します。

3. ダウンロード

「ダウンロード状態」ウインドウは、「リモート検索」、「Go to search」などでダウンロードを実行するとメインウインドウに表示されます。またこのウインドウは、画面最上部のツール→ダウンロード→状態で開くこともできます。

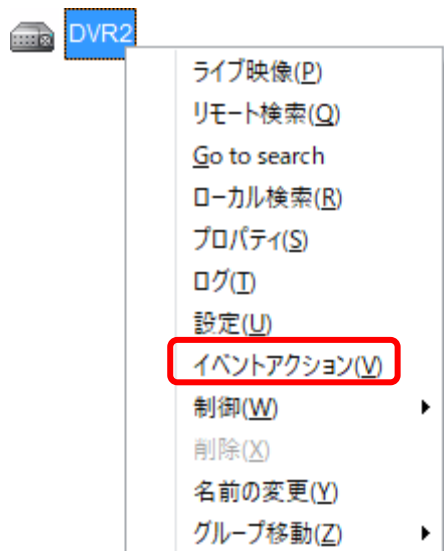


ダウンロードの進捗状況が表示されます。「取消」をクリックするとダウンロードを中断します。「閉じる」をクリックするとダウンロードの結果の表示を消去します。

※ダウンロードするときには画面左上「ツール」→「ダウンロード」の項目で「サービス開始」を選択した状態にしてください。（「サービス開始」の文字がグレーになり、「サービス終了」の文字がはっきりと表示されている状態が「サービス開始」を選択している状態です。逆になっているとダウンロードできません。）

VI イベントアクション

イベントアクション機能は、DVRとそれに接続されたカメラなどで発生したイベントをきっかけとして特定の動作（コマンド）を実行する機能です。

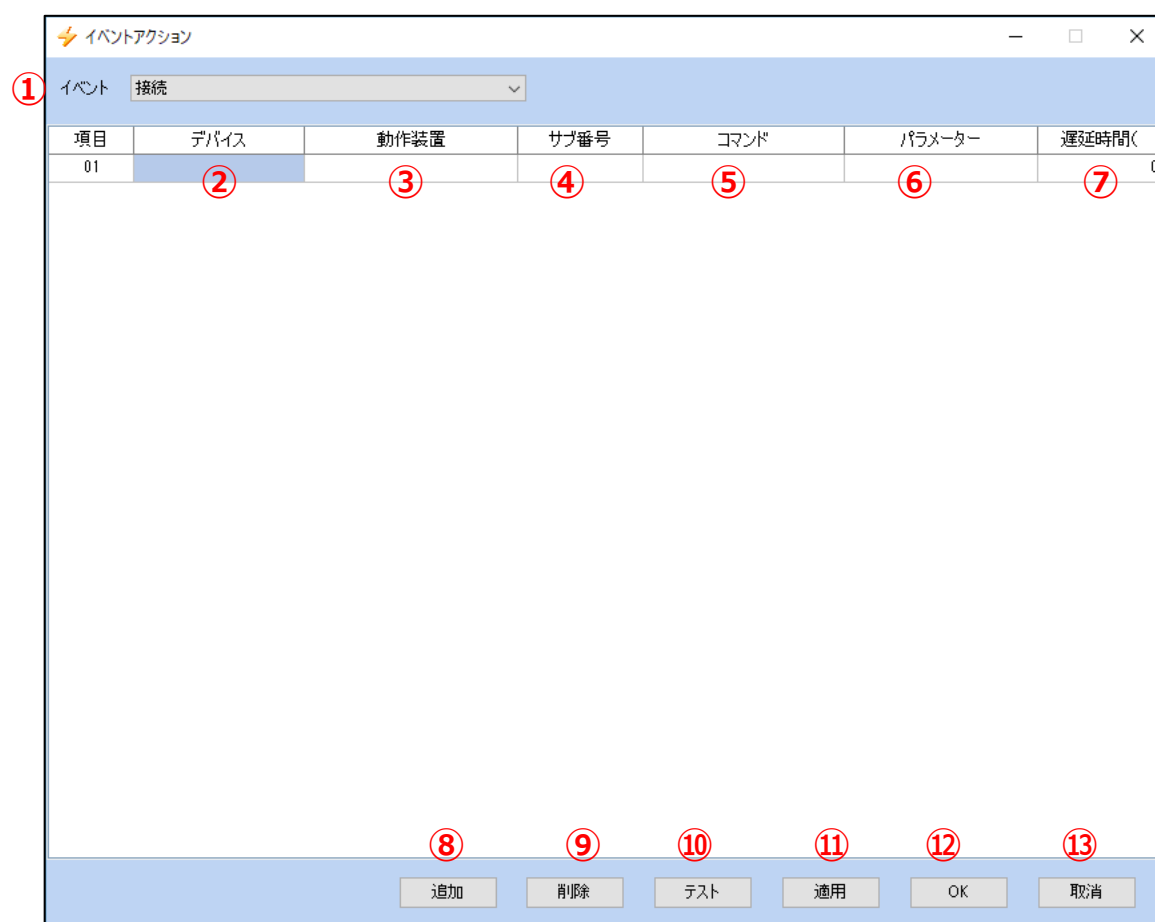


この機能が利用できるデバイスはDVRとカメラです。

ツリーウィンドウの中のDVR、カメラのアイコンを右クリックすると左のようなメニューが表示されます。

「イベントアクション」をクリックすると下のようなウィンドウが表示されます。

※ 「デジタル入力」のアイコンを右クリックしても「イベントアクション」のメニューが表示されますが、この機能はサポートしておりません。



① イベント

アクションのきっかけとなるイベントを選択します。

デバイス	イベント
DVR	接続、ネットワーク切断、ハードディスク異常、(「ファン故障」と「温度異常」は表示されますが、これらの機能はサポートしておりません。選択しないでください。)
カメラ	モーション録画開始、モーション録画終了、アラーム録画開始、アラーム録画終了、ビデオ信号復旧、ビデオロス検出、モーション検出

② デバイス

イベントの発生時にEMS2から指示を出すデバイスを、登録されたDVRと「システム」の中から選択します。「システム」とはEMS2 がインストールされているPC を表します。

③ 動作装置

デバイスからの出力先を選択します。

④ サブ番号

動作装置が「カメラ」の場合、番号を選択します。

⑤ コマンド

実行するアクションを選択します。

⑥ パラメーター

コマンドが「PTZ移動」のときはプリセット番号を指定します。「音声再生」の場合は警告音の wavファイルを選択します。

⑦ 遅延時間

イベントの後、コマンドを実行するまでの遅延時間を設定します。(単位：ミリ秒 1000=1 秒)

⑧ 追加

イベントアクションを追加します。(最大25 まで入力できます)

⑨ 削除

選択したイベントアクションを削除します。

⑩ **テスト**

イベントアクションをテストします。

⑪ **適用**

変更された値を適用します。

⑫ **OK**

変更された値を適用し、ウインドウを閉じます。

⑬ **取消**

変更された値を保存せずにウインドウを閉じます。

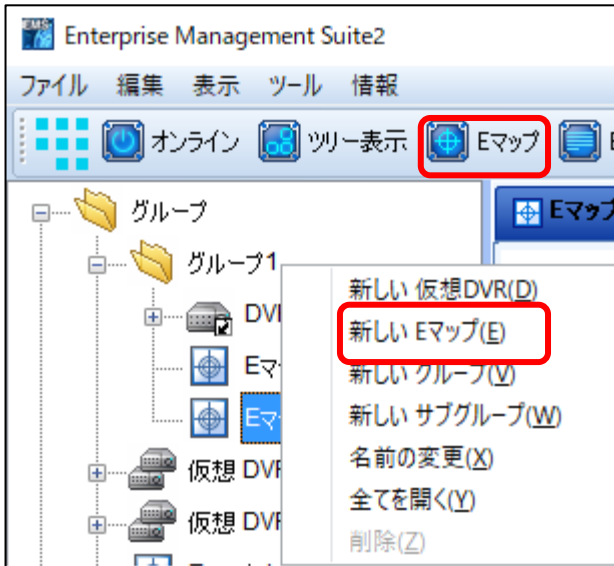
■ 各デバイスのコマンド

デバイス	動作装置	コマンド	
DVR	カメラ	PTZ移動	プリセット番号に移動します。番号は「パラメーター」で指定します。
		自動ツアー	この機能はサポートしていません。
		オートパン	
		オートチルト	
		スナップショット	スナップショットを保存します。
		ライブビデオ	ライブ映像を表示します。
		録画	PCに録画します。パラメーターの数字は秒数です。
	デジタル出力	デジタル出力high	この機能はサポートしていません。
		デジタル出力low	
	ブザー	ブザー鳴動	ブザーを鳴らします。 (DVRの「メニュー」→「設定」→「デバイス」→「アラーム」の「ブザー」の「使用」の欄を「オン」にしてください。)
ブザー停止		ブザーを止めます。	
システム	効果音	音声再生	音声を再生します。
	ウインドウ	警告ウインドウ	警告ウインドウを表示します。

VII Eマップ

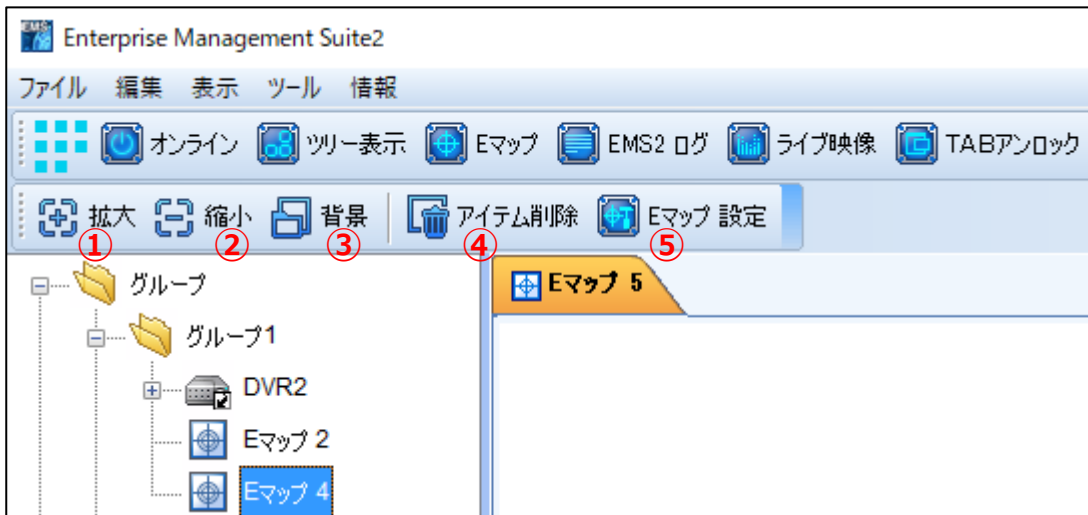
Eマップは、地図や間取り図上に、DVR やカメラのアイコンを配置し、機器やカメラの位置をわかりやすくするものです。

1. 新しいEマップの追加



ツリーウィンドウの「グループ」のアイコンを右クリックすると表示されるメニューから、「新しいEマップ」を選びます。もしくは画面上部のツールバーの「Eマップ」をクリックします。（すでにグループ内にEマップが存在する場合は既存のEマップが表示されます。さらに追加したい場合は右クリックメニューを使用します。）

2. Eマップの制御ボタン



①	拡大	Eマップを 2段階で 400%まで拡大します。
②	縮小	Eマップを 2段階で 25%まで縮小します。
③	背景	背景として使用する画像ファイルを指定します。
④	アイテム削除	Eマップ上で選択したアイテムを削除します。
⑤	Eマップ設定	「Eマップ設定」ウインドウを開きます。

3. 背景の選択

背景となる画像ファイルを選択します。画面上部のツールバーの「背景」ボタンをクリックすると「ファイルを開く」ウィンドウが開きます。ご自身で用意した地図などの画像ファイルを選択します。

4. アイコン

1) アイコンの追加

DVRやカメラのアイコンを左のツリーウィンドウからEマップ上にドラッグアンドドロップします。



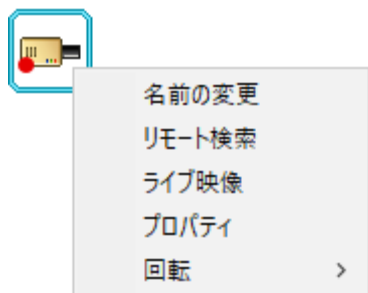
2) アイコンの種類

アイコンをマウスの右ボタンでドラッグアンドドロップするとEマップ上に表示するアイコンの種類を選ぶことができます。

DVR	DVR	通常のDVRのアイコンです。	
	Event DVR	イベント検知時にアイコンが赤く点滅します。	
カメラ	カメラ	CCDカメラ	ご使用のカメラに合わせて選択してください。 (IPカメラは使用できません。)
		ドームカメラ	
		IPカメラ	
		PTZカメラ	
	モーション	モーション検知時にアイコンが動きます。	
プリセット	PTZカメラの機能。プリセット番号のアイコンを作成します。ダブルクリックするとPTZカメラがその番号に画角を合わせます。		
ライブビデオ	ライブ映像をウィンドウで表示します。(PCの環境などによりスムーズに映らない場合があります。)		

3) カメラアイコンのメニュー

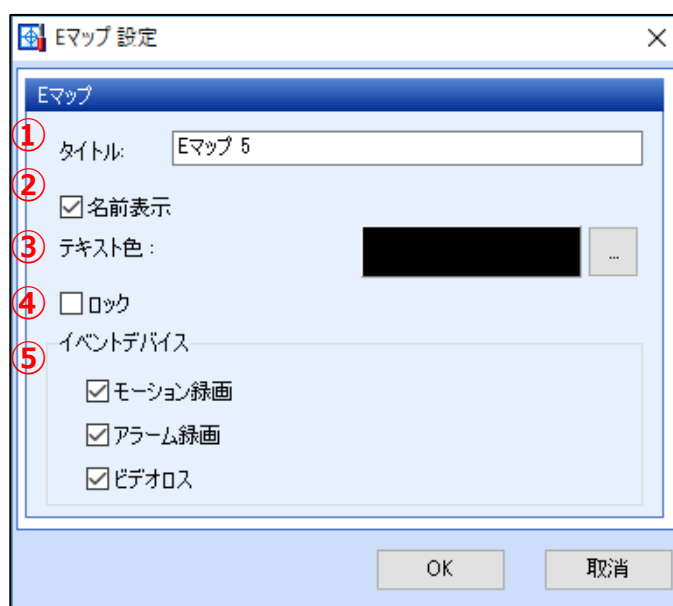
Eマップ上のカメラのアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。



名前の変更	アイコンの名前を変更します。
リモート検索	「リモート検索」ウィンドウが開きます。
ライブ映像	ライブ映像をウィンドウに表示します。
プロパティ	「DVR登録情報」のウィンドウが開きます。
回転	カメラのアイコンの向きを実際の向きに合わせることができます。

5. Eマップ 設定

Eマップの設定をするには、画面上部ツールバーの「Eマップ設定」ボタンをクリックし「Eマップ設定」ウィンドウを開きます。



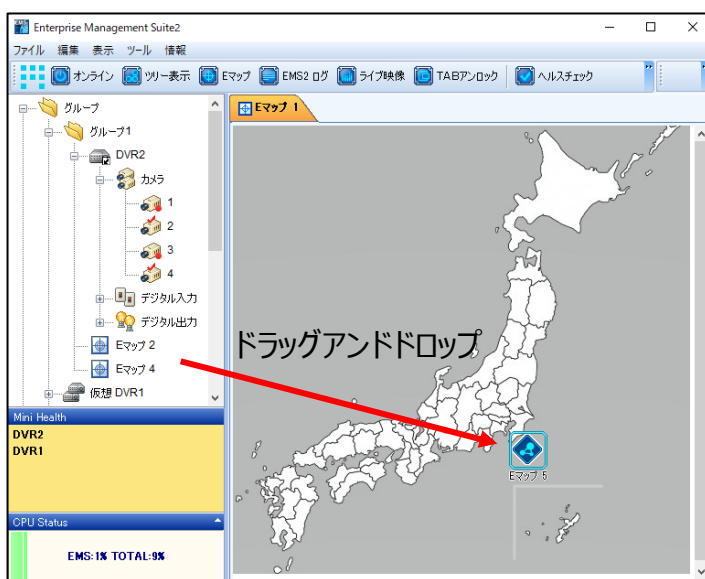
①	タイトル	操作しているEマップのタイトルを変更します。
②	名前表示	タイトルを表示するかどうかを選択します。
③	テキスト色	タイトルの文字の色を選択します。
④	ロック	Eマップの編集（背景やアイコンの追加、移動、削除）を禁止します。
⑤	イベントデバイス	この機能はサポートしていません。

6. Eマップリンク

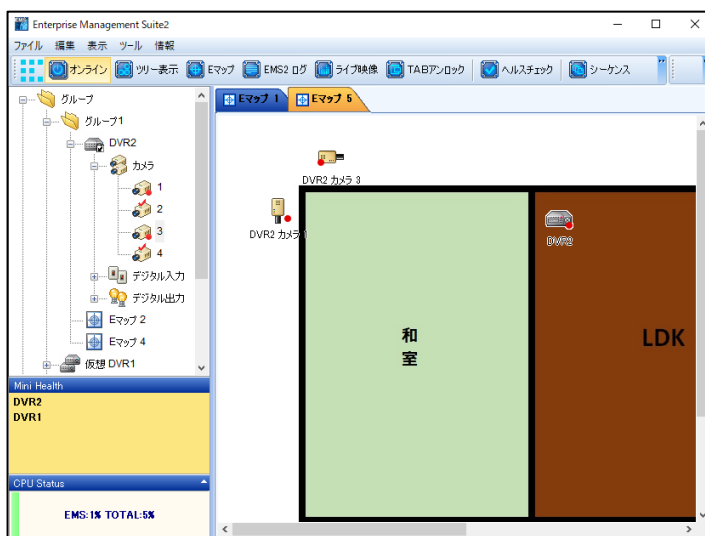
Eマップリンクとは、地図と間取り図など、複数のEマップをリンクさせるものです。

Eマップ同士をリンクさせるには、メインウィンドウにEマップを表示し、その中に別の Eマップのアイコンをツリーウィンドウからドラッグアンドドロップします。

Eマップの中に配置されたEマップアイコンをダブルクリックすると、新たなウィンドウでEマップを表示します。リンク先のEマップにDVRが配置されている場合、DVRがイベントを検知すると、リンク元のEマップに配置されたEマップのアイコンが点滅するように設定できます。（画面左上「ファイル」→「設定」→「その他」の「Eマップにイベントを関連付ける」にチェックを入れます。）



Eマップ上のアイコンをダブルクリック



リンク先のEマップを表示

Ⅷ その他の機能

1. DVRリストの保存

EMS2に登録されているDVRのリストをテキストファイルで保存します。

画面左上「ファイル」→「Save as…」をクリック。保存場所を選び、ファイル名を入力します。

2. 直接ダウンロード

複数のDVRの録画映像をまとめてPCにダウンロードします。

画面左上「ツール」→「直接ダウンロード」をクリック。「直接ダウンロード」ウィンドウが表示されます。DVRと開始時間、終了時間、カメラを選択し、ダウンロードを開始します。

3. ファイル再生

バックアップされたデータを再生します。画面左上の「ツール」→「ファイル再生」を選択し、画面右下の「開く」のボタンをクリックすると、「イメージファイルオープン」ウィンドウが開きます。バックアップデータを選択すると再生を開始します。

スマートフォン用遠隔監視アプリ

Mobile CMS

ご利用の前に

本アプリをご利用いただく前に、DVR のネットワーク設定を正しく行ってください。
ご利用のネットワーク環境に適した設定がされていない場合、アプリを正しくご利用いただけません。

I 推奨OS

iOS : iOS 3.0 以上、最新バージョン

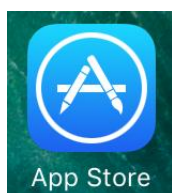
Android : Android OS 最新バージョン

(一部のスマートフォンでは使用できない可能性があります。)

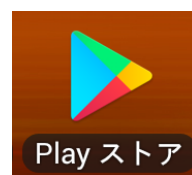
II インストール

iPhone などの iOS 端末の場合は App Store を、Android 端末の場合は Play ストアを開き、検索画面で「Mobile CMS」と入力して検索してください。無料の MobileCMS (Lite) と有料の MobileCMS Pro が表示されますが、無料の MobileCMS (Lite) を選び、ダウンロード、インストールしてください。

iOS端末の場合



Android端末の場合



「MobileCMS」を検索し、
「MobileCMS (Lite)」をダ
ウンロード、インストールする。



MobileCMS (Lite)

※ iPad をご利用の場合は MobileCMS HD lite をご利用ください。操作方法は同じです。

Ⅲ DVRの登録

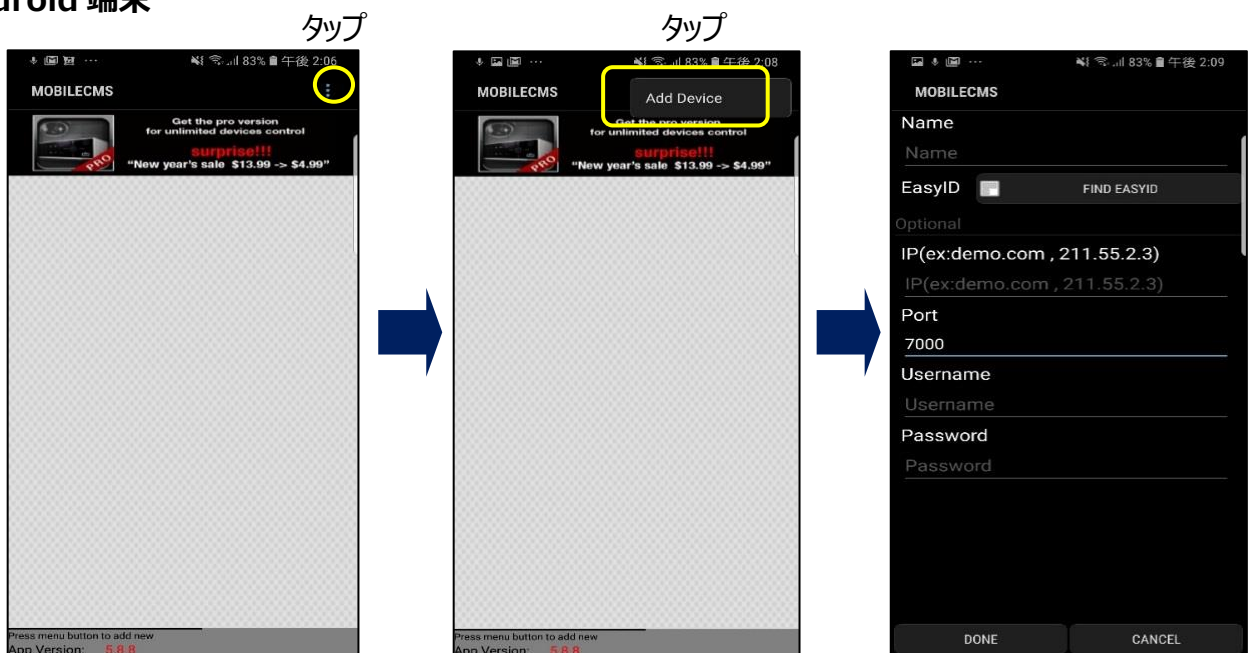
- ① MobileCMS のアイコンをタップし、起動します。
- ② 下記の操作を行い、DVR の登録画面を表示します。
(※お使いの端末により画面のイメージが若干異なります。)

■ iOS 端末



DVR登録画面

■ Android 端末



DVR登録画面

※ 機種やAndroidのバージョンによっては上記のアイコンではなく、端末のメニューボタンをタップする必要があります。

1. DVRのネットワーク情報を入力して登録する

一般的な方法でDVRを登録します。以下の項目を入力します。

Name	任意の名前を入力します。分かりやすいものに入力してください。
EasyID	ここでは何も入力しません。（この項目は次項、「QRコードで登録する」で使用します。）
Host Address (iOSの場合) IP (Androidの場合)	DVRのIPアドレスかDDNS名を入力します。 (DVRと同じローカルエリアネットワークの中で接続する場合はローカルIPアドレスを入力します。ローカルエリアネットワークの外から接続する場合はグローバルIPアドレスかDDNS名を入力します。)
Port	DVRに接続するためのポート番号を入力します。 (初期値は「7000」です。) ※ DVRが接続されているルーターのポートを開放する必要があります。ルーターのマニュアルなどを参照してください。もしくはネットワーク管理者にお問い合わせください。難しい場合は次のページのEasy P2Pを利用して接続する方法をご利用ください。
User ID (iOSの場合) Username (Androidの場合)	DVRのユーザー名を入力します。 (初期値は「admin」です。)
Password	DVRのパスワードを入力します。 (初期値は「000000」です。)

以上の項目を入力し、「Done」（iPhoneは画面上部、Androidは画面下部に表示）をタップすると登録完了です。

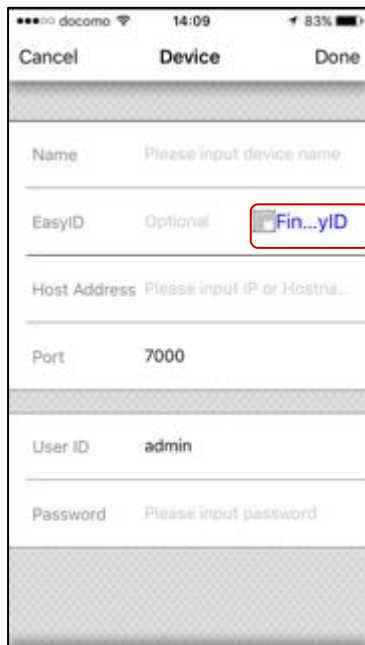
2. QRコードで登録する

Easy P2P 機能を利用してより簡単に接続します。

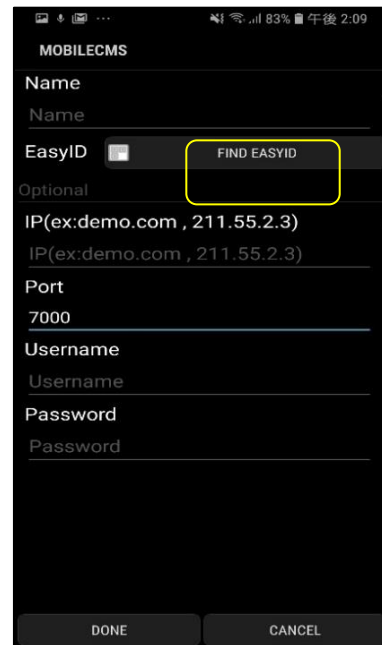
※ Easy P2P を利用して接続した場合、ネットワーク情報を入力して接続した場合に比べ、映像の遅延や中断が起こりやすくなります。ご了承ください。

- ① DVR 本体の「メインメニュー」→「設定」→「ネットワーク」→「一般」の「Easy P2P」の設定をオンにしてください。
- ② DVR の登録画面を開きます。
「Find Easy ID」の文字をタップするとお使いの端末のカメラアプリが起動します。

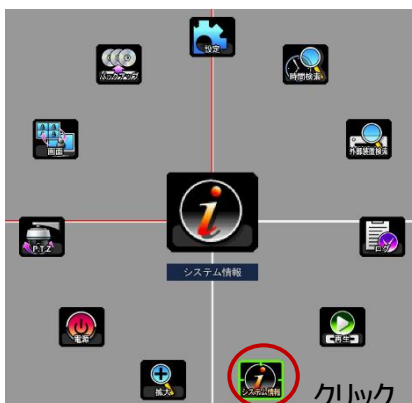
■ iOS端末



■ Android端末



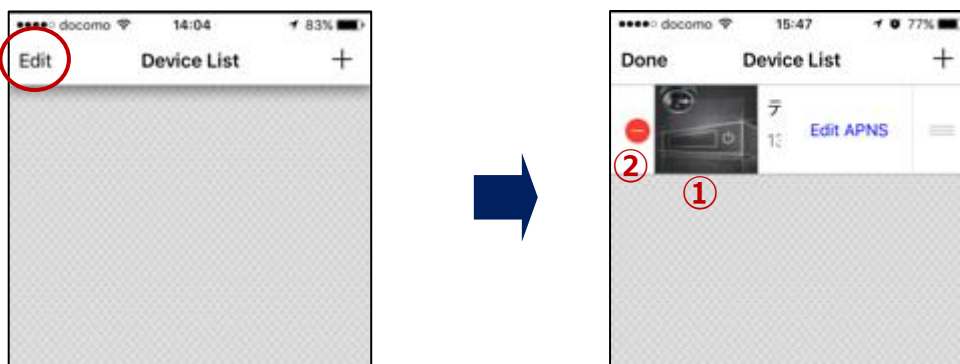
- ③ 登録する DVR の QR コードをモニターに表示し、カメラで読み取ります。QR コードは DVR の「メインメニュー」→「システム情報」に表示されます。読み取ると、レコーダー固有のホスト名が自動的に登録されます。残りの「Name」と「User ID (Username)」と「Password」を入力し、「Done」をタップします。



3. 登録したDVRの情報の修正と削除

■ iOS 端末

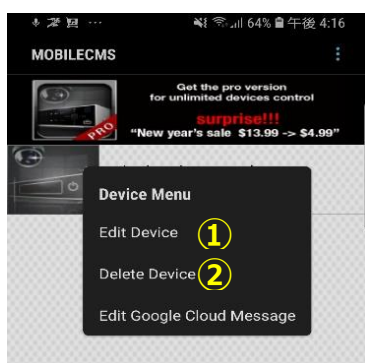
Device List 画面で「Edit」をタップします。



①	編集	DVR のアイコンをタップすると DVR 登録画面が表示され、登録した情報を修正することができます。
②	削除	アイコンをタップすると右側に「Delete」の文字が表示されます。タップすると DVR を削除します。

■ Android 端末

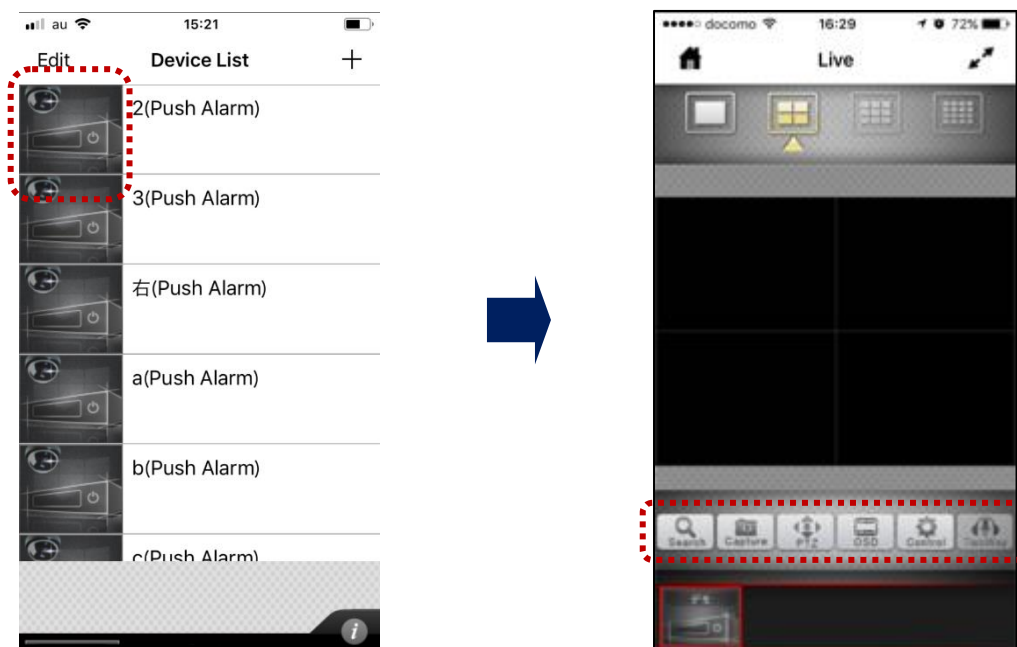
メイン画面で DVR のアイコンを長押しするとメニューが表示されます。




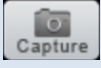




①	Edit Device	登録した情報を修正することができます。
②	Delete Device	DVR を削除します。

IV ライブ映像

メイン画面で登録した DVR のアイコンをタップするとライブ映像が表示されます。



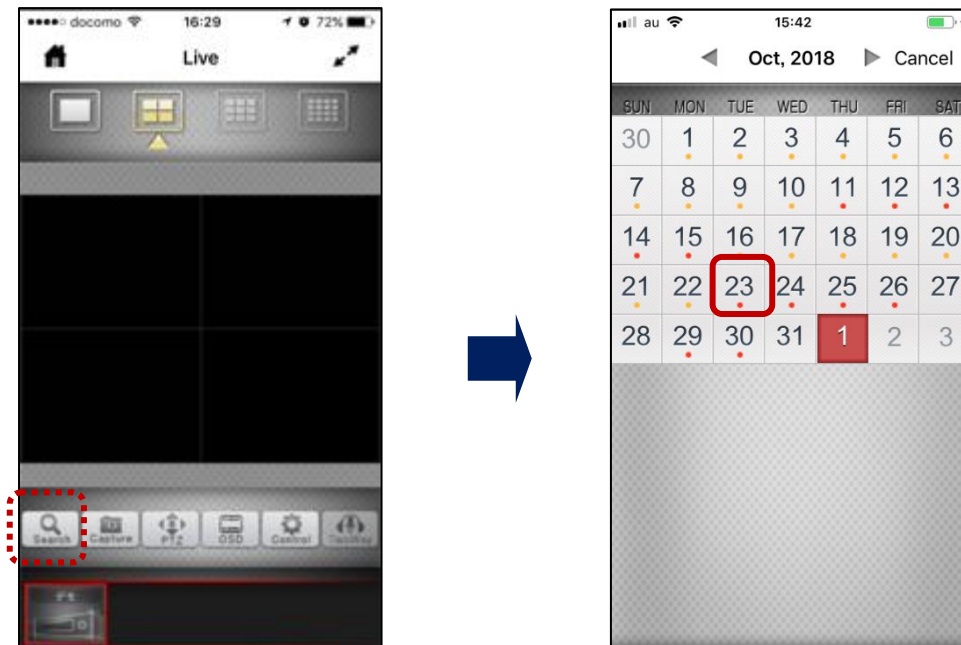
画面下部の各メニューのアイコンを説明します。

	Search	録画映像を検索し、再生します。
	Capture	モニタリング中の映像の静止画を保存します。
	PTZ	PTZ カメラの制御用ボタンです。該当のカメラを単一画面で表示します。
	OSD	映像上の文字の表示、非表示を切り替えます。
	Control	DVR の一部の設定を変更します。
	Full Screen	映像を全画面に表示します。

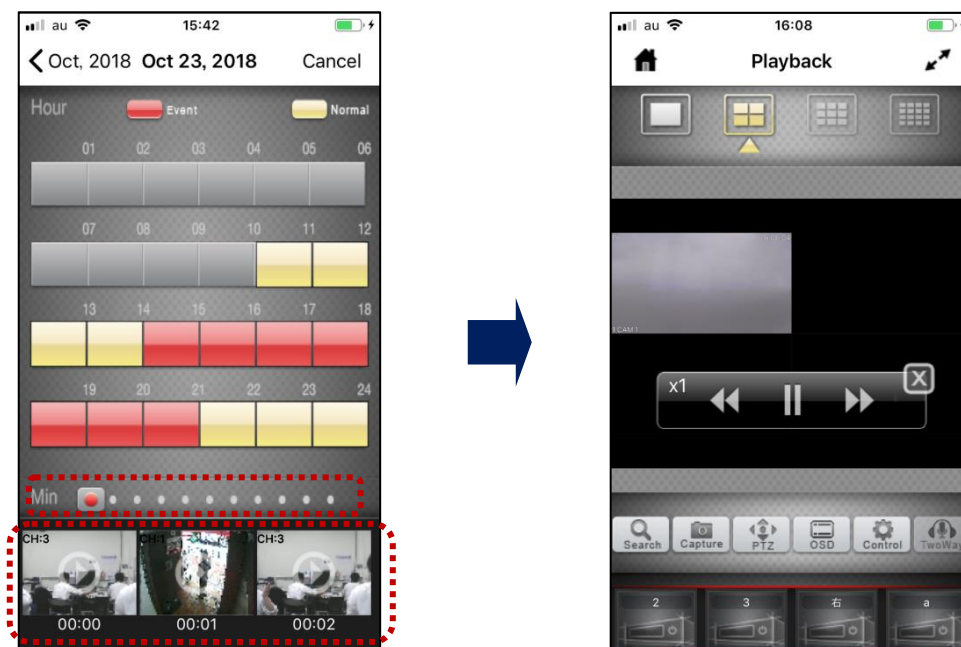
V 再生

DVR に録画された映像を再生します。

- ① 「Search」のアイコンをタップするとカレンダーが表示されます。









- ② 画面上部の左右の矢印で月を選択します。日付を選択すると、その日のタイムテーブルが表示されます。(イベント録画のデータは赤、通常録画のデータは黄色で表示されます。)




- ③ 時間を選択すると、画面最下部にその時間内の静止画が1分ごとに表示されます。その上の「Min」と表示されたバーを使って目的の時間の静止画を探し、静止画をタップすると画面が切り替わり、再生を開始します。画面に表示されるコントローラーで制御します。

■ 再生コントローラー

	再生	再生します。
	一時停止	一時停止します。
	早送り	早送りします。一度タップするごとに「×1→×2→×4→×8→×1」の順番で速度が切り替わります。速度を遅くしたい場合や通常の倍速に戻したい場合は繰り返しタップします。
	早戻し	早戻しします。 再生に戻るときは「早送り」ボタンをタップします。
	倍速表示	早送り、早戻しの倍速を表示します。
	再生停止	再生を停止してライブ画面に戻ります。

VI 設定

ライブ画面下部の  をタッチすると設定画面を表示します。



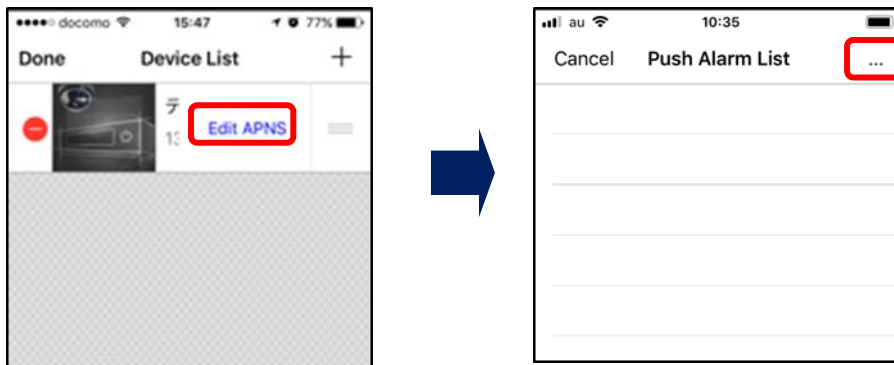
Record	DVR の録画の ON/OFF を切り替えます。
Schedule	レコーダーの予約録画の ON/OFF を切り替えます。
Alarm	レコーダーの Alarm Out(リレー)の ON/OFF を切り替えます。

VII その他の機能

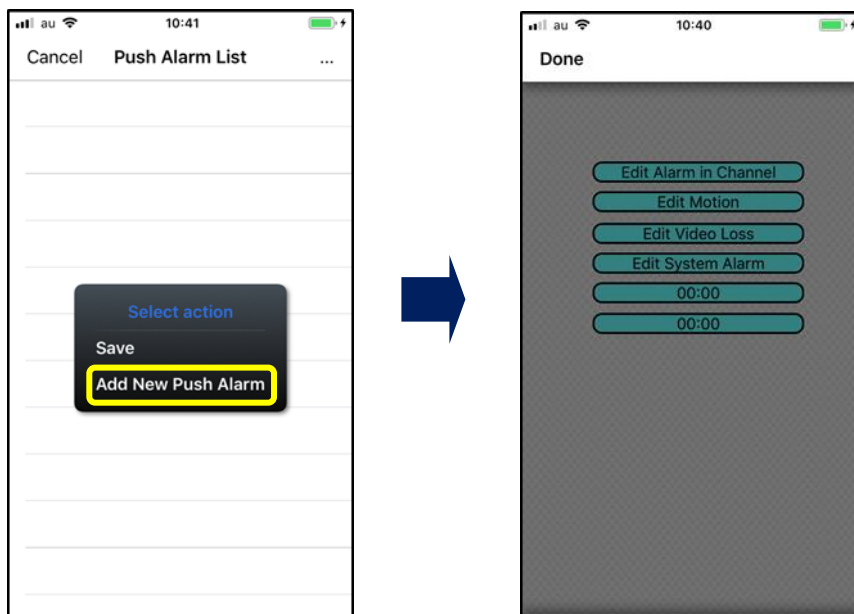
■ APNS (iOS 端末)

Apple Push Notification service (プッシュ通知サービス) を使用します。イベント発生時に iOS 端末に通知を受け取ることができます。(メールとは違い、メールアドレスを登録するなどの必要がありません。)

- ① メイン画面の左上の「Edit」をタップすると左の画面が表示されます。「Edit APNS」をタップします。右上に表示される「…」をタップします。



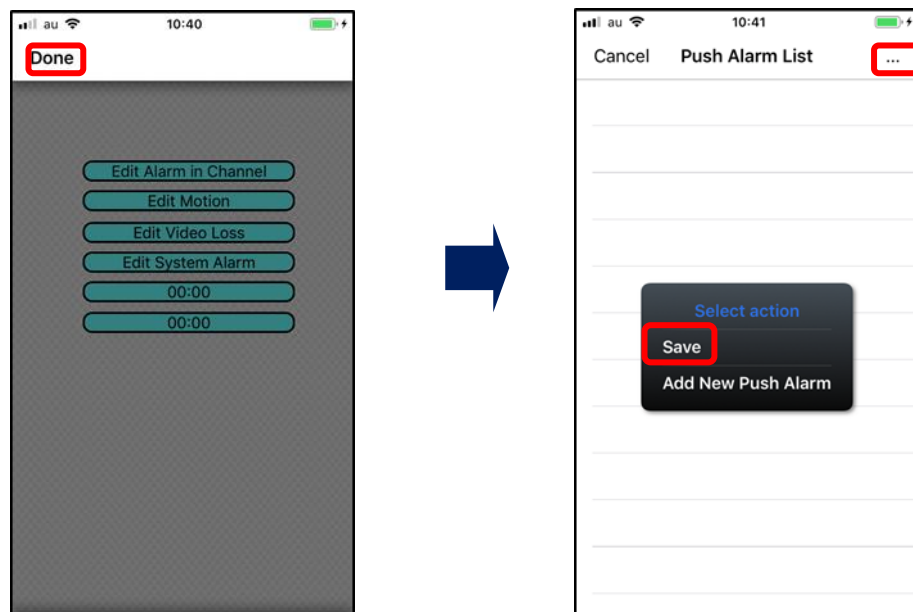
- ② 「Select action」のウィンドウが表示されたら「Add New Push Alarm」をタップします。設定画面が表示されます。



各項目の説明

Edit Alarm in Channel	アラーム検知を通知するチャンネルを選択します。
Edit Motion	モーション検知を通知するチャンネルを選択します。（16 チャンネル表示されますが有効なのは 1 から 4 チャンネルのみです。）
Edit Video Loss	ビデオロス検知を通知するチャンネルを選択します。
Edit System Alarm	通知するシステムに関する検知内容を選択します。 HDD 異常 / 録画障害 / 温度障害（サポートしていません。） / ファン障害（サポートしていません。） / 電圧異常（サポートしていません。） / RTC（内蔵の時計）用電池電圧低下 / 外部機器イベント / ネットワーク切断 / 管理者ログイン / 電源復旧 / ディスクフル / パスワード繰り返しエラー / 補助イベント
00:00（上）	開始時間を指定します。
00:00（下）	停止時間を指定します。

- ③ それぞれの設定を行ったら左上の「Done」をタップします。「Push Alarm List」の画面に戻ったら右上の「…」をタップし、「Select action」のウィンドウで「Save」をタップします。（左上の「Cancel」をクリックすると設定が保存されません。）



株式会社 セレン

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-11-6相馬ビル

TEL:03-5911-1045

FAX:03-5911-1046

E-mail:info@selen.co.jp

<http://www.selen.co.jp>

1811B